理事務に

從來全~無經驗

これから精々勉強したい

出席可能と思ふ

我輩は豫告なしに僻めぬ

宇垣陸相配者に語る

が算閣議には

より震部運動開始の管

意見聽取地方諸問題

に機嫌敷着氏は夫人全腰同常十三 近よってとうに、ちてこれを見りに開東職務等院長を続ざられ 総語にポッノ 一階名

北海道一農村で沖

米價を一俵金十圓に換算し

(日曜火)



またもや診聴問題の別語に医性を訪れるさ解も形臓を置置)学成隆根、再燃してあるが十二日が減風所津

る財政を整 を 大野八殿谷様園を挑戦した 本職院車場を凸戦し添配線の西北 医よく記者に左の短く離るとなる、自分の連歩とで 大野八殿谷様園を挑戦した 十日幌曜草は 者もはつきりいひ得ない 着しはつきりいひ得ない が自分さしては悪くもの が自分さしては悪くもの が自分さしては悪くもの が自分さしては悪くを が自分さしては悪くを が自分さしては悪くを が 1 元政政務次官の 2 無な変が

氏宛で郎日歓市蘇郡の回復を贈り 市蘇部は本日級學良氏より予慰學 市蘇部は本日級學良氏より予慰學

土通商條約

職体級は十二日正式に職職された 間トルコ政府より最美された 小で公課を納る 十二日正式調印發表

所施政が乱と

黨部回復

世界的不況原因

米佛

イツの滿蒙鐵道投資は疑問

駐佛日銀代表齋藤氏の歸朝談

及ばない『ハルピン特信』 信款に應することは殆ど担保も

日本部の情報をなる音響を開始している。 では極度の解政器館から或る儀性 の下に履歴機能行躍より一億二千五 の下に履歴機能行躍より一億二千五 のでは極度の解政器館から或る儀性 はない。 に投資する餘裕をもたず傳へらに投資する餘裕をもたず傳へらといるるので到底支那様で苦しんでゐるので到底支那 獨の借欵を拒絕

**帰國側回收難を豫想** 

歌を育覚込んでゐる外ドイツ風 かんない ス端においてはドイツが巨酸の なっぱいから ない こう 申込には腰ゼロ模様で、フランス・ロイ現在においてはドイツ政府の

のや此州から 満鐵理事部長の 廣汎なる先決權 近く重役會議で決定

し同時に暫定定数を 事が続く、 ・ 本が大人分散して責任を重ふこさ で物部に関係なき触り総と観て物が正規念による都長の機能は観る 平断機能の降低を作つて重複を除ってあるが多な場合と後続しまなり目下他成的の都合上後続しまなり目下他成 正規定による部長で

意見交換

大人

市長關東雕訪問

滿鐵沿線の

本の主義を表現である。 本の主義を表見を表見を表して、 本の主義を表して、 本のを表して、 本のを表して、 本のを表して、 本のを表して、 本のを表して、 本のを表して、 本のを表して、 本のを、 を、 本のを、 本のを

連店商廉白大

中心さして、満洲戦争を批野し

時分、大連端島町の一館に

9 日三十月十

大連革命夜話 「大郷乾館なざゝいふさ、その 筋の目がびかりき來るでせうが をれば第二較館の直後、職其美 それば第二較館の直後、職其美 今から二十年も前の話なんです

**以蔣派和平通電**と

奉天派の意思表示

時局解決上注目さる

、在、職二氏共産性を貫ふて下野するさ在るが同時に今

解が程者、考飲院長の概天仇者 今、岡民政府志能さして時めく

那さの中草地帯さして共同ので に乾燥を聴し、消滞を日本さ支に乾燥を聴し、消滞を日本さ支

年五和昭

「北京十二日餐電道」院、汪、郷三氏港名通常によれば蝦天海、北方海、南京施毗に和平倉庫を開きているる、信に動じ群が様、駅準民際氏が如何に概するか続くさら 張 夢 夏氏の意思表示は大百郎の機元たる蔣介石氏も個人獨裁の責を負ひ下野すべきであるさの意味を含めたる。 信い動し群が様、駅準民職で配い、汪、郷川氏炭漿焼を買ふて下野するさ祀るが同時に今今後政治的解決の大勢を支配すべく意野劇されてゐる

庭塾に一人々々引見し今冬の府縣 無畑事職や詰めかけ安達内様に大 無畑事職や詰めかけ安達内様に大

蔵読存問題に関す

駅及び來年施行される府縣

奥地へ水産物の

販路擴張が必要

内地からの進出非難當らず

小濱漁政課長語る

事實で和平會議職能は軽天派も賛成してゐるので北方派の希認通り北京に開かれるであらうさ 和平會議は北京で「北京十二日養殖」既 編集 改

國民政府施政方針

蔣介石氏五項目を發表

會議員總成邀につき福々情勢を職 後六時過ぎ一同編表した

「な企てるものが多い、悪神から 州県龍州に出て鷹支國殿に近く滅 州県龍州に出て鷹支國殿に近く滅 州県龍州に出て鷹支國殿に近く滅 大らは遠くシャリーから櫃々沿海 は立を企てるものが多い、悪神から

連驛の新築案

けふ重役會議に附議

るもののやうである、しかしこの なもののやうである、しかしこの 野瀬 は 翌年度の 変質 製紋の 減減 政策 寛は 翌年度の 変質 製紋の 減減 政策 寛は 翌年度の 変質 製紋の 減

を表しての質しは本年よりも可なり、ことでの質上高に比較して、昭和五年に数年へ、ためる、前ち昭和四年度に数年へ、から、前ち昭和四年度に数年へ、成を見続ってある、前ち昭和四年度に数年へ、成を見られている。として製造されてでは、世界の不思された確認のでは、世界の不思された確認のでは、世界の不思された確認のでは、世界の不思された確認のでは、世界の不思された確認のでは、世界の不思された確認のでは、世界の不思された確認のでは、世界の不思された確認のでは、世界の不思された確認のでは、世界の不思された確認のでは、世界の不思された。 であるものさも観測されてある 市社會課長

□。切°皮∘触。使2 □・の 膚・ひ 康: □ 食:病料 | 美・

¥1.00 ₹ 10 ¥ 30

出版心在のためか会交付は十四日を静でわつたが、田中市長藤順に 機様である

卸賣市場問題 あす正式發表 大戦時代の曖昧事能であって職立。
住女にも疾風が備フと並ったさ には及ばぬさ。

E A L

(Value) 能で賣





東鐵從業員數 露支折半は實現 二重國籍者全部解職

◆四方長治氏(奉天ヤマトホテル支配人)同上

一十三日入藩天襴丸にて選氏(宮之下富士屋ホテ

滿鐵炭販賣收入 明年は増額豫想 買氣は漸次恢復し

一物五分近くの減敗を見載つてるの飛炭線教入職難に五年度より物、成に連日多忙を纏めてゐるが、仄成に連日多忙を纏めてゐるが、仄 

大

觀小

考へられませんね 開税を上げるからさいつてすぐ いで内地電報が無へてゐる蝦蘭 を態煙した短く描するは磐目だ。 変角 機からメンタルテストさる。 変角機からメンタルテストさる。

が。 ・ 世界では密後會議を北京に贈き ・ 世界では密後會議を北京に贈き ・ 世界では密後會議を北京に贈き ・ 世界では密後會議を北京に贈き ・ 世界では密後會議を北京に贈き ・ 世界では密を表しい。 ・ である。 ・ ではのでは、 ・ では、 通り一連の地方官會議に表ること 給り無味のよい語ではあるまいが の乗りやうな眼で聴まれるは

長濱氏

横洲革命運動の手引な の前で、失敗を報正直な解判は赤い はその孫文の命 て、張単良のか 奔走して居るが 満洲革命は現作線の頭張りでど

連した水産大會出席の一行 若者がたえず出入し、

みんなの

総合からか、廿四、五の一人のその輸出町の革命の単に、謎の

る。そこな中心に若い革命屋は 上、脚、気なぞの若手を大連の時分のことで、それらの間

次長の戦務も決定される管

P

シャ農民の

れば総々増加するだらうさあり、 のさへある、本年の部状期にはい のさへある、本年の部状期にはい

近く脱稿

露亞經濟叢書

●御年寄方は日く

無病、息災、延命、長章

よび輸水人が多いさ

村から來るロシャ師化のドイツおその大部分はオクチャプリスカヤ

脱橋か見るべく全部で百髪の大野。 満線調査脈ロシア經濟装置は既に 大十髪な完成したので近く全部の で近く全部の

子中語淡全年

全十二巻・一川一

新代不朽の全集 南代不朽の全集

最密書店に御甲込下さ

國外逃亡者激增

の久配の百萬元を世話したのしなな大へん可感がつた。様致へな大へん可感がつた。様女へ っなかった。

昔は可成り過激派だつたこさし

日本を忠賞にしてくれて履た。

と認め人がわる。

それる

た時田中市長は野路圏東郷さ種と 指含す戯あつた

です……精島町時代を思い出す 生(満織理事)には郷恩になり 「私は山西の勝撃です、大塚光

を解介石なぞささゝやいたもの ついが達てのこと、北京のある 「おいあれば 資世凱の躍しもの お島上落す野びのある歌鷹君そ お島町の寝館の駅に出入した岩 着こそは離あらう、今山画で飛 が島町の寝館の駅に出入した岩

燈の如く贈るものである。現在 ちざんな感覚に入るでわらう 谷製路にたづきわつては なこさか思ひ出し

わつて居

山西部の営権を振るべき人なのの人であつたのである。離戯者 日は午前十時より高騰紅炭仏樂部において大阪藤殿郎を加へ日本館 たが七四日も緑瀬するさころあっ たが七四日も緑瀬するさころあっ でするないの下が合せを開催するさころあっ でするないのですることに

面白い中に良い事が

●御主人奥様日く この全集神む人は無しく この全集神む人は無しく この全集神む人は無しく この全集神む人は無しく この全集神む人は無しく この全集神む人は無しく この全集神む人は無しく この全集神む人は無しく 愉快な全集

下打合せ

日滿聯絡會議

全日本柔道選手

中によるだらうさいはれる、一所 響響事他等を大端さらて二、三級学によるだらうさいはれる、一所 響響事代で世の歌歌を魅りた小野系の手に影けられる数は一部が 松茂、山地茂一等のモンダイリン野系の手に影けられる数は一部が 松茂、山地茂一等のモンダイリン・ 大響線事件で世の歌歌を駆めた小野系の手にかけられる数は一部が 松茂、山地茂一等のモンダイリン・ 大響線事代で世の歌歌を駆めた小野系の手に動けられる数は一部が 松茂、山地茂一等のモンダイリン・ 大響線事代等を大端さらて二、三級学事代は代

吉州十四名のモ

整撃しこれが全象形の権職だらう 全塩」を頭出いものはないさ 申込 でが 配出いさいつても 「無対議議

全滿洲寫眞師

聯合會生まる

露披轉移爲

所の配究ミ斯業界の向上、清冽の副説同業者が根深り

全集の横綱

た 一般 表記 や 単歌

**御職合會を組織するに至ったので** 親職を**職る機関さ**むて全端州縣政

向各品共二十五圓より

視察の

みならず國産部

は要求している。 は要決している。 「は要決している。」というには要決している。 「は要決している。」をは、 がも歴史的感激の地であるさい のた意味で今度も十七日大連、 十九日率次、廿四日ハルピンで、 撮影音を開き厳く一般からよう。 は要決している。 での満洲の園園を頂きなり。 での満洲の園園を頂きなり。 でのあるさい。 での満洲の園園を頂きなり。 でのあるさい。 は要決している。 でのでするといる。 は要決している。 でのでするといる。 は要は、一般からようです。 は要は、一般からようです。 は要は、一般からようです。 は要は、一般からようでは、 は要は、 にいる。 にいる。 は、 にいる。 にいる。

中前中の影像左の駆使に移った 上午前中の影像左の駆使に移った

小袋はます~ 第つてなり 一般地に ある紙人 へ起に ある紙人 へ起に と

本邦為選界において既然國際品の

てるて最早単なる娯樂の域を核ても関素品の装飾が必要であるさ思い私の社では

裏は材料の宣傳

懸賞撮影會まで開催

公判に附された

禁制品事件

同氏等一位の一般という。 を対すエンタル部型で表すしては をも目的の解析品の解析に を対すエンタル部型で表すしては を対すエンタル部型で表すしては を対するが、更に一歩を進り高い にも新版終振派の必要を で、大阪出場所長山 の必要を で、大阪出場所長山 の必要を で、大阪出場所長山 の必要を で、大阪出場所長山 の必要を で、大阪出場所長山

今年既に五十八件

登場人物百四十名に達す

トラツクの部

大連小學校兒童總出で賑つた

たら事像は十二

数にする抗議の

ンでも五十五萬国に上つてゐるの 右の始末に及んだも るる總内艦太郎一味のペンソイリ りひごく��買された

前十一時二十分午前中の競技を終し應援の生徒また無犯、かくて午

梨本宮殿下を

十三日入港の天満城で日本におけ るホテル業の元融さもいふべき宮 ノ下富士屋ホテルの山口正遺氏が 北京扶桑館支配人代容秀氏、ギ天 ヤマトホテル支配人内方伝治氏さ

生であった

小は今は放人さなったが自然祭の | 穏その事業に関係なき人は何んな | 人は今は放人さなったが自然祭の | 穏その事業に関係なき人は何んな

學六女走巾跳 一等後原〈日〉三米

れる金額は質に莫大なものさ見られる金額は質に莫大なものさ見ら

カ筋荷着梅泉地ワ

大佛さんの

後を追ひ

けふうらる丸で 酉子夫人來連

理

でこれらか合せるさ関係に納めら

フィールドの部

排日派の米人巨頭連

新平さんを語る®

話は變る一が後瞬段は外

ーズベルト氏さへ面會を謝絶された

パーパンク氏との會見挿話

人の機格風彩の

德前正河山林日廣盤本日見
3 0 1 3 5 1 2 6 3 0 8 4 六男二百米
8 0 4 4 6 0 1 3 1 3 2 4 五男二百米
1 7 6 2 1 0 3 3 0 4 4 5 六女百子
0 0 7 0 4 2 4 2 2 3 5 7 六男百米
2 1 2 3 4 0 3 3 3 3 4 4 5 八女百子
2 1 2 3 4 0 3 3 3 3 3 4 5 7 六男百米
2 0 2 2 6 0 4 2 0 1 7 9 四男 千米
4 0 4 3 8 1 2 1 3 2 5 3 四女百米
6 9 0 0 2 3 2 1 1 2 5 4 六女市践
26 17 26 17 36 7 21 21 13 19 44 41

氏夫人「大佛さんからの御手織で第一人者の名を擅にする大佛文郎

あって来られたんですか?」さ

き無

断子夫人こそ我が大衆传染さして が十三日入港のうらる丸で楽た、 が東三日入港のうらる丸で楽た、

お客に限る

ホテル業の元前 山口正造氏來連

外國人の

兒童愛護デ

營養保健講演や音樂會

なほ大佛氏は飲分大速に居を定め るらしく切りに飲家をさがしてゐ かん向けることでホテルに泊らうさ風つてなる留守ださうで、まあ歸信人の大佛は恰度パルピンに行信人の大佛は恰度パルピンに行信人の大佛は恰度パルピンに行信人の大佛は恰度パルピンに行信人の大佛は恰度パルピンに行

日程

叱られて悲觀 少女の自殺

許婚の男を嫌ひ

支那官憲の

壓迫と

共産黨の迫害

から教へ



引立被下度奉願上候以て一段の飛躍を試み度候間何卒御後援御御客樣本意の奉仕設備を完成一層の努力を御客様本意の奉仕設備を完成一層の努力を

丁子屋洋服店 電話園六六二七番

二葉町四ノ四四

烈造元

金元酒店

見話ニー七一四番

新店舗大連市連鎖商店街銀座通

あま酒順

高 品

ピロロ語 金十 金五 金五 金五 金四四 (期日十月三十一日迄) 五 圖(時價六十 圖) 圓(時價七十五圓) 圓 (時價七十圓)

主催 ジャパン・ツーリストビューロ 大人六圓五十銭 小兒四圓十銭 小兄四圓十銭 小兒四圓十銭 小兒四圓十銭 小兄四圓十銭 山探勝團募集 旅客課話五五五四・四七二三億話五五五四・四七二三

人間にも油をさして 元氣健康を増進致します 内臓諸機関の運動を促進するので 血液の循環をよくして新陳代謝を迅速 『妙布』があります「妙布」の作用は りを和らげ痛みを消し一般れを続して にし、他内の電素を速やかに排泄して 作内臓機関の活動を関消にするものに 健康能率の増進

に勢められんことをお眺め致します

表代電話改番 五

機械の運輸に油が必要である様に

層板のコリ

間島在住の内鮮各團體の叫び

三戦に魁繆中の第

心壯な領事館葬

制能設地

金額は悪に選れて

ここで自分より三歳6年下であるので綿嵌を纏つて藤近常に友人を いびどく叱責されたのを懇話しな人を がひざく叱責されたのを懇話しな人を

かりこれにより微なする別金さ続いたこれにより微なする別金さ続いでは、一手萬國以上に達して

くは有田の御前し和

ストウピン氏の死は報源されたが マニラで要減ら、直に同地市立線 マニラで要減ら、直に同地市立線 マニラで要減ら、直に同地市立線 では、一大工・である。 選案族位先の では、一大工・である。 選案を依然の では、一大工・である。 では、一大工・である。 では、一大工・である。 では、一大工・である。 では、一大工・である。 では、一大工・である。 では、一大工・である。 では、一大工・では、一、一大工・工・では、一大工・では、一大工・では、一大工・では、一大工・では、

総合しに反抗は出来なかった。 の天ポであっても、金一級也の収 入に些語する彼は脳蜒と逆蜒の自

◎福運者には拾圓が骨

りを謎が前へ腕に埋まりまうに垂

これしき

F

ウピン氏

新客死

▲オポマルチンの新登寶 活力増 ・ 変勢恢復、芳香美味なオポマルチンは、陽西エー・ワンダー化學品製造所から和記洋行が 「一、二茶些を加ぶれて要学及 びコ、ア香味があつて一般家庭 がコ、ア香味があって一般家庭

景

品

出

深

見

醸造場

千本を

千本中の景品

到 至昭和五年十一月末日

三二一等等等

金金金

九大九四貳 〒〇 筋本本本本

誠鶴一升入瓶詰一本御買上の

御方に上等タオル一筋と

拙籤券を差上げます

洗を一人の侍の前へ突き が思ひざし、ぐツさ干して下さ (可經濟學學(日本代)

西合殿が、屋根船の町の町で総返い上来の壁が酔りに養白く、 中家一乗の壁が酔りに養白く、 中家一乗の壁が酔りに養白く、

「さらばちや」さ有田と呼ばれたがたらく、満ち口元から瞳液 がたらんさ満つて、縁らぬ口元から瞳液 がたらんさ満つて、縁らぬ口元から瞳液 がたらんさ満れ落ちるが、眼がざる しゃ かっかい して 「濡は澱、酸は叶素 でる」。

では、まア秘さしたこさが、野番ない。 ・ ませいでは吹めておーつ!」 ・ 総屋は、ふちつく手をあげて

では来る十九日の第一 で居るが、深元、紫学津、義太夫、 で居るが、深元、紫学津、義太夫、

行むの内ムレハ・トツセな大雄華豪<sup>国</sup> 一な的秘神・ムズシチロエるえかせ

!よれさ奥滿を味趣洋東

舡

邦樂研究會

書々木※初 書々木※初

るが、なかく 舞歌に析が入らぬるが、なかく 舞歌に析が入らぬさうしたさ言へば いま葉野からの道中だ」 ▲ 新闽館のならい間ののがよった「東洋の秘密」がいま

册 画

緳

内

三日

準備す

なむ

何か響の物らないこさな、ぶつ

乗り

能が、気のや

るさ際へられてゐる 大夫師の子號三番が智附上微され 大夫師の子號三番が智附上微され

、厳ひも揃って、降

の上演奏歌、出演メンバーは既に の上演奏歌、出演メンバーは既に の上演奏歌、出演メンバーは既に の上演奏歌、出演メンバーは既に のを演奏歌、出演メンバーは既に のが決定を見んさしのトありまた の意味で常勢津調正會から

されて居った。

のでござん お三人さも殿族の脈に、

が、郷青は でござらす。殿だ四人が好一人のでござらす。殿だ四人が好一人の脚質がはあなたお一人、一瞬代の脚質

投出して、他愛なく前へ酔いがなされませ!」 前人氣旺な 浪曲米若 十四日大劇で

一番目 雑波戦記へ大序より重成と第七時目をり揺記を上減する由と第一年日より左の如

歌舞伎座藝題替

梅の由兵衛、一幕軍の井子別れ、一事

惠 JQAX

サーナ・ボーネ氏決死の過影 ・今週の料金・ ・今週の料金・ 電上一個 階下八十 ・今週の好金・ 電上一個 階下八十 ・今週の大変にて開放致します ・大楽席な ・一時夜間七時迄銅入場のお方は

月十四日午後七時

常

ターレコード 一枚宛進呈致御土産として米若吹込ビク

す場合にも室内の温度を下げずにできます實に重實な

ビクター

ストープです

が完全に炊け其上に連續燃燒が出來ますご飯を炊き蒸燃料は如何なる粗惡炭(混入セルモノ)粉炭にてもご飯

にき

8

▲ 支那語講座 (初等科第十七課) ▲ 文那語講座 (初等科第十七課) 「ロ)ふなびさ、青柳振作々(へ)

性病 0 活

▲料理献立 ◆料理献立

京

(事共前後の種類)松四日午後六時廿五分

を達する確實の効力を有する安全短時日に應用の目的の特殊作用を以て容易用無関业四五ヶ月内に本剰



東京新富堂支部 生四一等 洋

れ、この通り が充分に酸配 特代までの恥軽ではござんせわ

トト、お口程になく、 た?離がしたこさてござんす?程 かあらうさも、触に積んだお恋を かあらうさも、触に積んだお恋を かあらうさも、触に積んだお恋を かあらうさも、触に積んだお恋を かんな飲み恋しても、決して呼ふ でも明し上げるより外はこさんせ だくれであるさは始めて知つた一だくれであるさは始めて知つたー た。今夜、ごなた差がなされまし

ち触れたまって、同じここを繰りていると

(日曜火)

◆映画物語 求定、糖永天露、 學指揮、宮野顧

**皮**軟糖毒素 病

物ニユー

「恥も、外師もないわ。聞きもにか?」

州 载 日

清局

東洋の秘密 福逸ウーフア社長。コリン主演のアラビアン・ナイトか会等なセットによって映画化し第四、五金等なセットによって映画化し第四、五金等などのでは、

ーファ社特作品十巻、

、五巻は美しい天然色でゆら トから取材した怪奇な物語を 社特作品十巻、ウオルコフ監

園(捉放曹)連東俱樂部々鳴海松岩、三昧線竹本廣次、上田ハル鳴海部り、上田ハル

皆

履

樣 0 物 は

山

內 浪速町三丁目(電話五七一人番) 浪速町三丁目(電話五七一人番) 海湾南島館(電六三一人番)

於大連劇場

…○〈電六四三六・三九三八番~〉〉 場所取りの方は 早~——

ピクタ

燒

狀 0

態

當る十四日初日

毎日午後五 時開場

名連員座

山木亭 駒壽小木 々清米 博若若 吉丸鶴奴島若造奴

入場 料 木木木

**表 表 急** OEA 000

四日間限り日延なし

は

滿洲發賣元

電話代表五〇六二香

安東野四香道 安東野四香道 四平街仁藝街 **砂山北三條 桑吞中央道** 脇本町 宫三宫矢製大近竹宮秋宮本盛渡和宮水福增河 播氷利江島下山組多和邊肥井野 商會公洋商木商

社司行店廠店店店司店行店店店店店

永

盆々不振に陷る

中央戦亂一段落で

支那汽船が漸次活躍せん

を はして のようである、然しながら際東上 のようである、然にカルピン方配では のようである、然しながら際栗上 はれる、殊にカルピン方配では 御年に応じてつきまが、大田の坂く大正さしてのみでなく 取締の輸出に懸続さなつてゐるの 政知の如く大記さしてのみでなく

雜食料品(七四) 100~1 雜好品(七四) 100~1

魚類及〈九台

かった

42

短くである 更に動き

に依る騰落を示せば左の

を通

9

要職の影が

ह्य

前月を前年同月

木材の

都士

行き交ふ顔に

も漂ふ

伐るに伐られ

ぬ悩み

京が

きにし吉家、歌、曹歌朝の三郷直 通列車等も出し却々に歌輔さして 連列車等も出し却々に歌輔さして

たることは自然風帯の現合を杜橋 数なものがあり、極端に数数もて も現在の短く内地駅村の不滅は減 と現在の短く内地駅村の不滅は減 ◇・・豆粕の

海關の鑑定は

日本人と更迭

從來の不便は一掃

立っ。 ・ はにないた門様である。 ・ はいってる。 ・ はいってる。 ・ はいってる。 ・ はいってる。

支那沿岸航路は

地震の量表が至し来他の地震が 動を認らす、楽に影武の主義を観り、 を記らす、楽に影武の主義教 を記らす、楽に影武の主義教 を認らす、楽に影武の主義教 を認らす。楽に影武の主義教 を認らす。楽に影武の主義教 を認らす。楽に影武の主義教 を認らす。楽に影武の主義教 を認らす。 を記していたピンガ酸の を記していたの るたや せしめて居るので、目下の所では

ないやうである織って富祉の仕事を与ばまだこれさいふ出離りた見てのにならばに根 

東三者に於けるそれまでのスエーデン窓の遊出によって悲歌は目標が悪いにおける同社の 大変の変雑は目標が悪いにおける同社の 大変の変数は同様の大変の変数にいるという 東三者さ 大変の遊出によって恣歌のかけるそれまでのスエー マン窓の遊出によって恣歌時を極め支那同社の 大変の遊出によって恣歌展響に おいまでのスエー 大変の遊出によって恣歌展響に アン窓の遊出によって恣歌展響に アン窓の遊出によって恣歌展を はいました (本) はいました。 東三者 という という はいました (本) はいました。 (本)

東三者に於け

は、全者において全支の橋可同東者大大者に出席するに謎のて東三省職大者に出席するに謎のて東三省職が電票マッチ課程より日富課院に致った。このは、1000年の場合の名称は極力之を

き事項は左の

・特楽マッチ原料を子製造原料は一切智

取扱はもめざる様なすこと 販質人をして将來環典マツ 原の吹良を圖ること 備の吹良を圖ること ので良を圖ること ので良を圖ること ので良を圖ること ので良を圖ること

生物では、混乱に混乱を終り を持つたが之水局長は悪命を持つたが之水局長は悪命

瑞典系へ對抗運動

满洲

0

雌 寸

場か五百

人心之な各脈に適當分

とめたものである、佛と管時は 肉類等の市場に脱盛を極めてゐる

村決議の寛行委覧を三十名選出

本人は昨年夏頭

吉松の人口

頭までは戸敷三百二

昨今徹底の傾向にあるらしい、前十餘戸、人口千百名されされたが

市

況

(中三十)

報子三世

大

五四二二〇〇 枚枚枚

は、しつかにをことは他地方に でも、しつかにそこには他地方に でも、しつかにそこには他地方に でも、しつかにそこには他地方に でも、しつかにそこには他地方に でも、しつかにそこには他地方に でも、しつかにそこには他地方に でも、しつかにそこには他地方に でも、しつかにそこには他地方に でも、しつかにそこには他地方に

は 見えて下変へてあると明確といってあるからこの調子ださ緩緩を受けていましたのであるからこの調子ださ緩緩を受けているとのであるからこの調子ださ緩緩を受けてあるからこの調子ださ緩緩を受けてあると明確をつけたがであるからこの調子ださ緩緩を受けたがであると明確をつけたがであるからこの調子ださ緩緩を受けたがであった。

「お高値をみせると明確をつけたがであるからこの調子ださ緩緩を受けていましたのでは流砂に大幅になると明確としたのではなからにの調子ださ緩緩を受けていましたがであるからこの調子ださ緩緩を置けていましたがであるからこの調子ださ緩緩を置けていましたがであると明確となると明確としていましたがであると明確としていましたがであると明確としていましたがであるといっというにはないましたがであるというにはないないましたがであるというにはないないましたがあるというにはないないました。

ムココ印 式 六九三八裔 大八裔 比比 比 一一〇〇〇〇〇 仙仙仙仙仙 一〇八六五三四 大一三三二五

鹿白酒銘 鉄五十道片りる便

見 食べ 林洋行の自慢の菓子 將に羊羹は他の追随 て美味 美味 を許さい

(四)

旬の鐵道輸送

北等の支那冷峻は船で脈虎さの移動も飛ど離った柳泉塔散

られない低し木林の配出しは根密いさいふ陽像から左種の事態は見

三三六、四元八 一四三、〇一二、四九八 一二、四九八三 六四九八三

にあるようである云々

であるが今後は意成系子に特にカーであるが今後は意成系子(修本や職や歌會用の)など 1 条子(修本や職や歌會用の)など 1 であるが今後は意成系子に特にカー

卸賣物價は

九月も續落

去年に比し著減

下旬に入れば激増しやう

石炭の滯貨は三倍

更に主要強送貨物登送を種別に見

しはせわかき取られてゐる

九月中は

輸組共同仕入

入れてゐるからで リカ三州まで の御覧上げの光

九月中の大連海関總收入は

中 理事會を除いてその財優の内拠を ・ 世事會を除いてその財優のなうことを考慮中なることは野報の通りであるが近く職合

が大連融に合動所側部九月起にかけた連融に合画が同じに動き入月を表達を表達を表達を表達を表達を表達を表達を表達を表達を表して、一分六厘の低落、之を前年同月にから、第1月に本年1月を基準さらて平場、である。前月に地職家としたる指さった。前月に地職家を記せたる指されてある。前月に地職家を記せたる指されてある。前月に地職家を記せたる指されてある。前月に地職家を記せたる指されてある。前月に地職家を記せたる指されてある。前月に地職家を記せたる指されている。

海關增收

| である | であ

をの内容は 種数 二二、000 五六、000 離数 二二、000 五六、000

本に南端各地の業務観察を終 等北浦に於ける同社各地の業務 等北浦に於ける同社各地の業務 明正を観察中であつたが十一日 を超速左の如く語る

生活に対、受液し高は二百七十大連取引所総勢市場に於ける十三十分

一方準職在官を見るさ程院を解いて六萬四千順(前年同期十一萬順)に比し四萬六千順城順方前年同期十一萬順

特産出廻りは

糖系、棉布晒木棉、モスリン、

のか精

今年は遅れた

支那鐵の收貨は左程でない

十三日限り

鈔票受渡增加

千秋氏北滿視察談

の学数に満たない狀態である)で

ける嗜好を加味するさ共に内地なのか称素板にも、内地さ満洲にお 스스크롱경 

T 本六四〇 なしか行人の顔に黒い家にさせてぬるさ聞くが、

現ってあった。現場大司及が現物見れば質氣失せに一般の下押しを示したが他は平に一般の下押しを示したが他は平

**砂票保** 

合

買氣失せに

□三七八八車 六三車 □二七八八車 六三車 一三一〇百箱 (両手枚)

イロス 大三車 大三車

重を蹴ってるるのが目 でする、木林に道路で、 大林に道路で、 大林に では、まないである。かくて、一般状の投げかける終である。かくて、というは観響な政策のために繋撃を阻止されてある。「富貴は吉林州の心花江」 会…滿洲の小寶界 が護來しついあ

大組合戦中にも悪機(い

面から道

場の一臓は

総は、炭屋、棺

全くその試職時代を經過したやその解を見ない敵戦制度は今やその解を見ない敵戦制度は今や

定期境合高(十日順)个車 開來高(新見六日順)个車 ◆現物前場〈銀建〉

をくその試験時代を經過したや うだ、我々は答順において職し い小質膨繁質問題に開連して本 態度が力強く呼びかけんさする ででいかけんさする

綿袋養ら 堅 す i

林式出來

新東哥

出來高(生山)

新 近 美穴の 老10・美穴の 老00 田来高別近 百四十一萬四 田来高別近 百四十一萬四 日本高別近 百四十一萬四 日本高別近 百四十一萬四 十一時 美穴 10元2 12元0 十一時 美穴 10元2 12元0 十一時 美穴 10元2 12元0 十一時 美穴 10元2 12元0 十二時 美穴 10元2 12元0 ○定期前場章 場(保合)

12 **養買相** 

三二一十十四月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月日

元二二二 前柏 五五五五 場 四三四七 一百 神 原

花 大量引 長 本 主力 原一古月 

二十七四八十錢 五十三個八十個

二一 神 展展

株(强保合)

米

11 44

阪

大月月月月月月月 大 四段限

仁限限限東

限限限

京

農期

ながら見てうまい。たべてうま

の他多動の歌にあって活動してもまが多年内地にあって独系法の概 いので知られてもる、誠に菓子作いので知られてもる、誠に菓子作を要するに味覚をそれるやうに作をのが第一でせう、それから質

手

限限限下交流等加速等 先當東 

式

取柄安先常市

京

の顕微が大變よい

外国系子では森がのキャラメルよ

當市も强保合 同同降級 二月限ニニス・〇一月限ニニス・〇

運輸

最寄店所令

商會

國際

保

說

數字上の交渉は演習終了迄拒絕

で、アメリカをで ・ニューョーケで更 ・ニューョーケで更 があった。

海軍費査定の方針

敦倫着は廿五日頃

米穀對策協議會 鮮米、栗、高粱輸入事情說明

昭和製鋼所敷地は

豆 柏 用來不申 出來, 二百000 出來, 二十百歲 學 出來不申

昇格の件を協議

きのふ拓相官邸で

三民政支署の

満鐵の意思に從ふ

提唱者善後策に腐心 中で水連の武富拓務参與官談 昨夜來連の武富拓路を発生している。 日本語とは全く白紙だ

樞府改革問題は

結局龍頭蛇尾か

産業員扱にして極数 然ださ思ふ、著良な 様ださ思ふ、著良な

感は急速に着手 感性 大業救済事業

上京 上京 上京 上京

十五日うら

市 况(主)

奉天の對西北軍關係 南京軍側の観た奉

國調記念消印

晒椒水產大會 けふから開く 午前中關東廳で會議

第三回再都日本水配大會第一日は 一十四日康熙嗣東總會辦室に然て 陳會の響で武富液和勢東館、小灘(付社に然て開東長館お協の年設會 「及ぶ内地脈餅、紫龍谷地の番解 「反ぶ内地脈餅、紫龍谷地の番解 長の粉連晩近の響で武富液和勢東館、小灘(付社に然て開東長館お協の年設會 考は賦に昨日送天々楽清、大連及 ある が、正午は偕 一番は既に昨日送天々楽清、大連及 ある か、正午は偕 一番は既に昨日送天々楽清、大連及 ある か、正午は偕 一番は既に常在中である。配して筆

下野を中止し

とその實際

たいないわけであります。そこで が果な要するやうにと他々の新工 が果な要するやうにと他々の新工

ます。東京あたりに

動物のこの方面における

學としての廣告

米國婦人ドレス

はズルくしたが以向かないしてショルトスカートだ。は

かけさいふ歌じた現してゐる かけさいふ歌じた現してゐる

るこそになった。

イスパニアのボロレ踊から

毛皮も新しいかけ方

た言葉を遣ふ新聞や解論が不聞

そうした材料が取材される所以 る然間の大新聞経がエロ・グロ る日本の武能駅を代表す ■ 施君はさうしたことを子供に

B 新感や雑誌が一部の選挙者港 ではなく、強くさもそれが大戦 いではなく、強くさもそれが大戦 い D あつさりさ受け掘すんだれ

それは世界経な懐心であるら

のものは、大衆の興味がそこに

ら見るさかなり壁蔵なものに概ちき腹が、壁之を敷酢焼笠易からを腹が、壁之を敷酢焼笠易か

どロの観視になるんだれ、煙を

東國にある日本人に近の概が なです。 対象では三十個人かの部後が あつて、常級が五六段し歌ふさ、 あつて、常級が五六段し歌ふさ、 もうお頭に重要を突へない、印象 のでは三十郎の常級が のでは三十郎の常級が

か」さ冷かしてやったら、かいってぬる。これが自由平等になっている。

果を製げる指針 業とを登送 株業の革新的理 第二編には 第二編には 第二編には

離農林技師木村金太郎著 腐鳥 質質

な

エロ・グロ

A 微はいつだつたか、エロの意でことがあるが、楽感師に見てたことがあるが、楽感師に見て 在なくしやうこするには先づ失な かすことが慰決曖昧だ かり かの関東京に行った時友人に がはれてカデノフォリーさいふ のを見て来たが全くエロ・グロ

0 そのくぜお父さんはエロ・グロ戦犯事を始んで課むさいふ皮の戦犯事を始んで課むさいふ皮の状況がある、 候職人 君だけ だ、だが質の別れたのはステークでやってあることよりも観光の影響なる影影響をた、既はステージを観光の影響をだ、既はステージを観光の光いにない。 だ、だが便の最れたのはス

■ なり教育者を変撃するな 教育者を変撃するな はそれでいっのちゃない

A 見ら除エロの減熱を機能する ととは社會影響の根本問題だナ で来るのは教育販売の根本問題だナ で来るのは教育販売の概本問題だナ ▲ それはハルピンの一名物として見て來るに過ぎないさ思ふ て見て來るに過ぎないさ思ふ 第三學期も総つて三者がびり 大郎がびりから二番目で見る角で 三年生になった。 平海 教佐 ==

果校でも家の配所でも不良見れる程賦を見ては抜け出し三吉 んは揺籃らずほったらかしだっ 配きびしかった、三吉のお母さ さすさ云って太郎のお母さん一 こん度はもつきもつかり動場

があった時、太郎は毛工を出記から二番目で二人共三年生になから二番目で二人共三年生にない。三県年の報皇校で版覧會

リカ婦人ドレス、イスパニア のボロレ師の服装を拠したし ので緊縮性な上衣の色が纏り レーアのベステーさいゝ瞬和



歌歌記者のあることも考へて一 臭れ

育者自身が自らの行みを慎むこまで来るさ歌後に残るものは敬

氣持の素晴しい 連鎖街の浴場

建造費へ萬圓の

をもつからであります。 奏職が配さ まつたやうなむ事に動揺な関係

たしつからであります。

本面目 T教育者のあることも著

エロ解事業の存在を吹ってね

ひ 自分の総を具て非の職器な姿に

会さへして居ればい」のだよ

教育者なんてものは生徒に命

支那語初等課











葦の髓から

天井のぞく

新市街軍に歸す

舊市街軍の善戦空し

新舊市街對抗庭球戰

不社寄贈優勝旗

旅

順

二名の賊拳銃で

街

わが警官を亂射

膓チブス

近く

豫防注射

宵の口日進街の兇賊

強い南風を衝いて

# 呼物の 醫大の寮祭 年中行事

又夕陽に映ゆる大平原を仰ぐ婆に一脈のユーモアあり はせう深水さか、ねこいらずさい。 はせう深水さか、ねこいらずさい。 が身を失ふものばかり他の美人 さ比べて彼女は鱧いが番茶も出 さ比べて彼女は鱧いが番茶も出

大学 を動行され日曜のこさって 中時から動行され日曜のこさって 苦心の飾物拜見記

て月見かな」「演鬼ケ島」「男」

東生苦心の結果能り並てら 等しかしその中にも光明がある 学しな苦痛でも懇親するには及 本中寮二十九號室「農民は何處へ を可した。 を可して、 を可した。 をでした。 

本人がそれになり切って年初年 中でなくて朝から晩まで見物人 中前奥山に住人でゐるかさ思は 中でなくて朝から晩まで見物人 のため未をかぢって生活してゐ るさいふ狀況、察室で一番傑作 であった、木の芽やかやの質た であった、木の芽やかの質た であった。本の方もれになり切って年初年 であった。木の芽やかの質た ○本その独中寮では山水、影、晋人の使命、早慶戦等もよく出來てさある 町のニユース 野地を往復した野地を往復した ▲山本第十六師園長、秋季演習の

▲計富拓≪省豪與官十二月擴順ため十二日軍河往復

て市民各機關代表者は十三日午前九時地が事務所に繋り軍隊を訪問した

澤紙では、決勝に

の服除神は本年もが新 大戦、西に入つたが、大戦、西に入ったが、大戦、西

小青 下間 原鄉

第館木蘭島田井 回 四 五 一 製 |

五二三

佐兵石森馬迪

4 木頭原 場上

第は既職の通り午前十時費政府に 集合同十時三十分より式鬼を響行 とたが影別者は智媛各機關各庭蟹行 したが影別者は智媛各機關各庭蟹行

吉林の双十節

吉

林

1

のさころさなつた

★ 本田海軍少将 十二日/ 加順往復 同 に 能 岳城へ 中 谷関東 殿 写 務 局 長 十 三 日 來 奉

山の紅葉狩

四四四一番市街

-

林不二太郎(工大)一七

▲東家十八號室「出館の表を見て」ので三省縣縣長途飛行を決行するいさいふ美しい全興もあつた。 | 青々哈爾の飛行場が近く完成するですのた。木の芽やかやの質だ 急情観音響では十一日貸困者敦潤 資金さして金十六四八十錢な春天 □曜で多數の人出あり盛い競馬は十二日から開催

鞍山市場會社 廿四日總立總會

軍隊の送別會

心時の旅大道路

夥しい太公望銃獵家

突込む

閉式した

自動車畑中に

ンの鼓震をなら午後十二時三十分 本部國の萬能を三唱してシャンペ 本部國の萬能を三唱してシャンペ

東京消草藏資東京消草藏資 山 古 商 店

曜で賑はつた

七十銭にて電勝カップが出る に供り九回ゲームにて申込期目は 十五日午後五時深殿完會費は一級. 記錄大會 全滿陸上競技

製に選手なき登り記憶なく四種目 をは選手なき登り記憶なく四種目 をはったが五十米 最終日の成績

る十八日の吉殿などし郷屋の駅を 連地が設院長夫妻の螺腰により今 連地が設院長夫妻の螺腰により今 旅で加欠を探じ披服製を要る智 事でるが同日午後五時世俗代社に

本 に山遊びかぶしたが、支那職より 家族線行で吉林縣では午前十時吉 大成なより臨時砂車を出した。 大成なより臨時砂車を出した。 大塚にて古林縣では午前十時吉 は、東京の要人参加さた又参加者は 大塚により。 大塚になり。 招待山遊び

(5)-歲 八



柳村

¥

大連若松町二一

佐藤多人

探順北陸町一ノ四ノ五



















大石橋昌平街一二

けたら鈴々遊ざかつて仕事ふだらこの不配郷に……さあつまり片つ 報やかなりし事よ ▲如何に三〇年式さはいへ女給

黄金

涤名赤 名与去 發责

◇一度観つたら残しておれられぬり 参名代が (党職二十四) = 問はよら

○一度染めたら容易にはばず、くせむ、アミーで完めたら容易にはばず、くせむ、アミーでは一般のない難が代……そして

新小 野が代といる新製品が断来ま

にあり oて谷が配から熱田蛇敷迎を受けて の大衛既が大物時で、しから送もよく 倒やかさに始め上げるのが一起も一 者が代の跨りし



据

B

Bin

可

歩サ

(卅五)

に安東縣は我軍の手にかし第一軍 を対明治三十七年九月陸軍衛城院 をして安東縣に上陸した時は既 が明治三十七年九月陸軍衛城院

小飛運輸具店主催にて来る十七日

大會開

全舊市街庭球

卷の東安 行政機關の變遷からみた 附属地の移り變り 安東縣開發の始祖大原少佐から 現在迄の慌しい發展振り

と地に其態質安東に踏み止まり除 縣兵塔極院神明髄神に從事し除縁 不休献 身的

・ 大年の六月で夫れ接続機能を ・ 大年の六月で夫れ接続機能を ・ 大年の六月で夫れ接続機能を ・ 大郎人である、夫か ・ 大郎人である、夫か ・ 大郎人である、夫か ・ 大郎人である、夫か ・ 大郎人である、大か ・ 大郎人である、大か ・ 大郎人である、大か ・ 大郎人である、大か 

既のために総給勢力を憎まな

望月調太郎氏談

した

年本は別野戦の選出を表に提手部では、本さなり更に展留民職役所の教育の教育を表して、 一年では、 一年では 其の後軍政

在の解放連し続きか終い人目を引

翌三十八年 ※ 職職局を整備する等面目を一新 ・ 一本の本に続ける事政を整備するに ・ 一本の本に続ける事政を整備するに ・ 一本の本では、これが脅め中 ・ では、これが脅め中 ・ では、これが脅め中

岐の花花が高れられてゐる 花柳便り 名を呼ばれた真奴は矢骏 日発 K X X 比較を変えると 歌のます 美しく强い歯に 其香味に聞らぬ遊配 と玉曜の茶を飲むも

りて、香味無類にして使りの宜しさ 合理に配合した理想品で、香味優れて際値です。 順入と投入の二種があり、最良の原料を科學的 現想の粉のミツワ機関があります 理想の粉のミツワ機関 (後用大型デューブス) D279石級本語 東京 九 是 羅 衛 森 無物 味噌に が良い にはき味が無い にはき味が無い 護衛用中部チューブ入一個金 拾 線場用 大 形チューブ入一個金 合線 **MAN** 





で級 基本四・一・四 大連はリーエノ六 (高級ナシ) 畑 & ・ 大連日ノ出町三ノ三ノー 中川 ケー

神馬 夏永四・七・一五 本漢湖永利町第二區 本漢湖永利町第二區 大連大山道七 東

外交官物語

CN

在東京一

ロシアさの空観に置かがった後職であった。そして質得したのも後 臓性数策にしても本野は外交職 が機であった。

郭枝 を献をこらした絵照もある智で

荷馬車の 通行制限

易矣壽世

treate むかうし立派な確立画に、他風のも後野は『そんなここが出來るものからしまがは『そんなここが出來るものからしまが出來るものか。本 を 野は「そんなことが出來るものか むかうも立派な 織立画だ、他國の かかに、 行機は 出來ん」と 双が態 れがどつちも大漢面面だから、 今れがどつちも大漢面面だから、 今 の試出は信用競以外に出てなか を上げて、壁座の観線の底から、 を上げて、壁座の観線の底から

内田、本野さ保守した外受賞されて窓に一座も受けなか 地院整吉氏等がある。窓田は特徴 地院を吉氏等がある。窓田は特徴 もならずに、矢郷宮中に入つた。 かだされたが、運なくして外根と動がないたが、運なくして外根と

を対してもいってもいってもいってもいってもいってもいってもいってもにってもた。 おり本野はロシアでは かりない と思ってもた。

だった。

や腰が凝いから、わしが内田を慰

尚州日報七五通年紀念

H ルナー年次至十五年以上歌歌、會 ・ 1五年以上の関節会今日の養選に ・ 1五年以上の関節会の日の養選に ・ 1五年以上歌歌、會 ・ 1五年以上歌歌、會 ・ 1五年以上歌歌、會 ・ 1五年以上歌歌、 東十年於至十五年以上歌歌、會歌 は被或五年於至十五年以上、歌歌 計日式在除午

賭博で捕はる

職せる視察殿に加り十二日愈行に はなる視察殿に加り十二日愈行に 株式食社谷県大郎氏は今回蘇樹方 株式食社谷県大郎氏は今回蘇樹方

湯井家の不幸 応原応律 日午後二時中間草まりて死去したとはかれて簡素中であったが十一

石 

公會堂設備成り

映畵の夕で賑ふ

日十一日兩日の盛況

元するから一般顧客は特に注意し 店人頭に右の協定小賣偷脱表を掛れる、因に宿然前より市場內各賣 與華樂園披露

有金融組合は開業以來順調な業 

が だった。そして主に高さいといい、 いかだった。そしてまた高さい、 いかだった。 一時職も使い手のない、 心臓をものや、 仕事の出来ない、 心臓をも一人前に働いた。 一時職も使い手のない。 一時職を使い手のない。 一時職を使い手のない。 一時職や職びある。 伊坂院の下では、 海鹿も一人前に働いた。

八日頃開哈

の、職場を配

有してるたが、吉林街二十六 は吉林隆路司令部の前に事務を はったい、古林街二十六 は古林隆路司令部の前に事務

の態度緩和のため濾過ではいいます 温い

の歌き二人で持てるだけの金を歌。 これを見た数夫人はうまく、酸 よろこび、原共齢の姿に忍び、脱

では、 では、 では、 では、 では、 でものがあり、その部下の一 でものがあり、その部下の一 でものがあり、その部下の一 である。 にである。 にでる。 にでる。

要なまできらはれた米女魁は、今かりであったが、明日のたつきに 窓の報いさは言いながら、一日窓の報いさは言いながら、一日 る所もなかつた。

世家 日常り良き新り 通完幅質用五両矢代祭 一二 第七須町一コ 三 第七須町一コ

大連市大山遥 小林又七安

思給 電話質機金融収利最近質 精存質制は大連案内計に限る 情用質顕手順徴用立致を

(学文 2) 解機用 日産町 きかいや電五四三七番 保一間吹装各室一層便和 をかいや電五四三七番 **汽车** 全事企具共月三十個の制造工程 全百事件類水溶在尚驗強 山形律行・東三〇一五

ハム 内地みやげ 電三七九七七 大連ハム動會 三河町池内電八六七五番 濟生醫院

四 十月 + 8

(可認動便取簿三篇)

牛莊港の碎氷船

少年團の

てかり常日は定めら非常な見もの

さ書いてある、まるで無行機のだ

德回實

15A # 12

雄辯大會

今冬試驗的使用

工程局會議にて決定

注目される結果如何

能され左記の懇様わり十時都會社 に然て少供少年酸の総様大會が際 ・

小學校の

遼

配分した六十四から千二百回迄の 金概は現金ではない出資金で之な を概は現金ではない出資金で之な が保に种子な支掘って利用せよ其 の跡間サケ年大巡のの者は种子で 人家ではある

北風が吹き出れ風が吹き出

納會

是 心 時 市 武 会 雨

るので朝倉の際式を撃げ機識校長 食社の郷壁に移った徽日に根部す

さ云ふ意見が會員間に濃厚

小賣店

公主

成し去る七日常地市場株式

社小賣場も恋々客

ま」 ・ で自分を報って行く計画になめ ・ で自分を報って行く計画になめ ・ で自分を報って行く計画になめ

をがぶつ飛ぶ機な歌は感心仕られ に用するのが監然、利子取つて元 に用するのが監然、利子取つて元

れた程で安藤氏な、紫山の にてを変藤氏な、紫山の を変形氏な

持たしておくやうなもので、女を関の金を出したのは、それは一時

第八言

枝衣朗書

中の財影概でなる振響して行くついてに家

文の態感をまで、またにしてある。

まだそのまと

等完全質三八側、 電六四七十数元

もりであったのである。

その夜二時過ぐる頃、人の腹節

第や脱就を迎へに四ルへ行こう

大黒町一一六電二二六〇二宮坂が黒町一十億八幡六幡朝人の方望

Ŧ

検治問望みの方は

おれの運じらう傾はまつた。死

計る

は無限じに二人で少し飲みませう

から一場の訓詁やなす

輸組役員會

房 本少年側の話前田 本特別講演播 要なる変貌も没が人に送られ十三日正 を参照見送り人に送られ十三日正 店

鳳凰

海供せらの組合の駅覧を聞ること る分配金の谷一郷な福立金ことて の場合の駅間を開かるで

時盛大に開催水學校の職堂に於けたが去る三日際館・ペき密であったが去る三日際館・ペき密であった。 ただまる三日際館・ペき密であった。 ただなまる三日際館・ペき密であった。 ただなまる三日際館・ペき密であった。 ただなまる 三日際館・ペき密であった。 ただなまる 三日際館・ペき密であった。 ただなまる 三日際館・ペき密であった。 ただなまる 三日際館・ペき密であった。 ただなまる 一日 に返りません こう はいました。 こう は

大なる歌家を催し

「そればごうもありがさう の御好意になりませう」 を飲の寒なも呼び でしたりませう」

皆お出でよ

いやいや、せめて仇敵の敵のがいかいやいや、せめて仇敵の敵のがいないとがし、なられまでも

譲店 市内目接の場所 姓名

長一同な代表して説

文を脱さしず市 新してが市 を経過され を経過され に、軽調送来でき に、地震送来でき に、地震送来でき

山浦氏

結婚披露

他は少しも酒がいけず、小さいの

ではり、妻夫人の室にいった。 そこには弟妹ならね、女殿の妻にいった。 そこには弟妹ならね、女殿の妻が解っばらって寝てゐる。

破った女……ああおれは何うすれっぱそれ切りださ、楽感のこさについて言ったが、あれり息がもう

(東広) 大人 (東京 大) 下 (東京 下 (東) 下 (東)

まは、

生米もご飯になってしま

も五六杯やれば酔ってしまふで

まして機はう

一日午後三時

見童デ

盛大に擧行

**佟縣長送別會** 城

泥棒も影を潜む

坂元巡查の盡力で

得利寺の平和境

實業協會

二十年記念

あす盛大に寒式

の見渡りをうけて赴任した の見渡りをうけて赴任した 探導、体験是の謝鮮がありて観る は輸入組合を連載合社が援助する は輸入組合を連載合社が援助する できょれるものさは其の間事情 を異にも組合良全部に繋も覆並を を異にも組合良全部に繋も覆並を 九 いから 庭球観音を催した 滿紡庭球 合理ではないかどの意見 納會 滿洲棕織

會さいふ社脈波人を組織する其の れ名配分に限る二百十餘名が復興 九名配分に限る二百十餘名が復興 塔 白 りよだ 

春

軍隊には

廉價で賣る

一日午前 公主職の神

東鐵電

話移管

哈

爾濱

て披露宴を催した事場の典を罪げ同

派をの変いるだらう 決せ

出資者に對する通知が頗る珍、先一

貔

子

電話は全部支が 那電話局の管下に贈れてゐる の合合により討議の一番の合により討議を

を 事になった此決態 要になった此決態 要行の十日特に が表現の が表現の が表現の が表現の が表現の が表現の があれる したのみで 機で午後七時に

つたに遊びないさ、

ろこびながら

時四十分登別車で本 時四十分登別車で本 時四十分登別車で本 多戦場合したが解 赴連 滿缀事務 版客連絡會議のたである。なほ職井

前田課

をの計画も高れ、娘の味の上で腰で、しまひ、頭大なそので、しまひ、頭大なそので、しまひ、頭大なそので、しまひ、 さを知ってるるので、 嫂

が懸けさては一杯吹けされ、自 が懸けさては一杯吹けされ、自 が懸けさては後の祭。されげさてほんさ うのこさは誤へられず、いゝ加減 変配を激粉して、数さ賭博をした まで、寒中を誤影され、寒、 概なにじめ、娘さんも、家財全部のが、二三十人程の人が來て、鬼門か開けておいたち、誰だか知ら 奥様から言ひつけられた通り使の態格をさいて聞いて見る

英文 登成並順印書監部通九六 大側電四三〇八 英 學 會 **社員** 探鳴年齡廿五歲 女給 英語 勝倉監釈譯文案起草 電話四三〇八 英 學 會 海二十八月

教授 和服裁縫內弟子二名藥 住花來調約內弟子二名藥 文 給 四五名平急入用爱遇す 高洲土木建築協會食堂 新門年齡十五歲以上 外交源本員 女中 女中 型・スタ 煙筒販管員 本人来談 本人来談 本人来談 ボテル電七一五五 | 電町一一三 | 場所 | 一三 | 場所 | 一三 | 場所 | 古本 古本 高間 調子シン族 高間報 関門 フヨ ク品高質質 古着古道 と金

まや電六六〇一番 牛乳 パタークリーム 電話四五三七番 電話四五三七番 支那 關稅營會話古今文尺價時 第一項 原教授後六時 イラコフ 信機町市場前 電五二九三番 尺八 明密流尺八数控 牛乳 パタークリー 所牧者 電話六一三四番

内科性病 新後屋崎店

文髪の室中をさがし れも感悟して幅にか れも感悟して幅にか れた/くき経色の片 になりないとにもな んき飲んだこきょて のは家中のし ありかな態でうて決心するのであっなごで自己自然の客い末、せめてこのばていんだ」 日案内

く跡に渡さなつて

被雇 女中 數名入用

女店 員入用十六七歲 何業を不問 金三拾錢塘 番です

五拾拾 新電 話二三十國あれて架設 新電 話二三十國あれて架設 白帆 天帆、高級純生漉む使紙は 算盤の御用命は 能印に限る批析は

名刺 スク出来ます 電話三五八四番電話三五八四番電話三五八四番 電話三五八四番 電話三五八四番 電話三五八四番 電話三五八四番 電話三五八四番 第一日のマナギャへ大連市派達アート内 単二十十月 単二十十月

家政婦の御入用の節は 一時間修繕 蕃音器

が 東ボー切) 東ボー切) 東ボー切) 東ボー切) 東ボー切) 東ボー切) 東ボー切) 東ボー切) 東ボー切) 東ボー切り 東ボー切り 東ボース大大 家政婦

五突に養展の終

常陸町波邊商天 電六不用 品親切本位買受

電六八四一条

店

實印の御用命は

給木丈太郎 電話四六九二番 婦人 胸大連二葉町六〇 電話四六九二番 記話七八九三番へ

**补寒 性睾丸 源灸** 

家博・お灸、縁ハリ灸裏門族院 能話六六八八番へ は 一方の一方の十二日

クサ 及除電の特効機有ます 大連網場機板を搬局電セス六二 大連網場機板を搬局電セス六二 大連網場機板を搬局電セス六二

地電車停留場所 院 〇四九四

しま、うち楽しる、生

· 四半 湿水燥房、以

歌かつた。辨にたった十層やった「おれはほんさうに馬膨だった。 自分の非行が、走馬槍の棚に駆ひざん底に行きつまるさ、今までの 生活の · 資

をまできらわれた。何さいふこさ でまできらわれた。何さいふこさ

して居るだらう。脱版

要は話四六の市



アットをふ間にスク

價藥 一五三二 十十十 圓餘錄錄

或種猛獸の膽汁中有効成分が膓胃の機能促進上缺くべからざる靈劑たるここは最近治療 界の新學説として重きをなせる所で自在堂藥化學研究所ではこゝに留意し研究多 年斯學の權威藥物學博士石津利作先生の發見にかゝるガマイン成分含有物 を加へて臓器療法を完成し得た、人物印腹痛トンプク即ち之である。 腹痛トンプクは胃中に入るや直ちに溶解吸收されて著大の鎮 痛作用を起し特異の効力を以て膓内の毒素、異性物を 驅逐消滅するここ神の如く如何なる腹痛でも本 劑一回の頓服で忽ち治癒すべく家庭常備

樂さして旅行携帶樂さして缺くべ からざる救急薬である。

けなし丸本舗 大阪市東區高麗橋一丁目 西 自在堂

据替大阪 一五七 香電防本局間三九三香

伐理店 大連市浪速町三丁目 日本賣藥株式會社

自在堂薬化學研究所長薬劑師西野信一氏が創案にかゝる治淋内服最新薬

(日曜火)

サンタリンは東印度及びマレー群島に産する白檀科の植物より抽出した 分を最も合理的に結合したもので之を内服すれば直に膓粘膜に吸收せら たて自在に適應疾患に應用し得られる。<! れ腎臓を經て膀胱に至りこゝに於て一種の化學的分解作用を起し强烈な 主要成分及び南米諸島に産する決明科の諸種の植物より抽出した主要成 疾患に對し殺菌、鎮痛、消炎の効本劑の右に出づるものなき優秀の作用 を發揮するのみならず断じて副作用を起す虞れがないから各自心を安ん る殺菌液を變じて尿と共に排泄せられる故に理想的治療劑として淋毒性



手入に忙

不内臓者記官長さの間に打合せ中である | 日曜|| ロンドン係約成立記念の園際旅送は試験成職しよかつたので着く地域の歌歌立について開民への報告さその後辺に感謝の歌を表するものでおいまが、近く覚現する智であるが、それに発彩で来る十七日純世紀の 富日十時一日曜 ロンドン係約成立記念の園際旅送は試験成職しよかつたので着く準日報 ロンドン係約成立記念の園際旅送は試験成職しよかつたので着く準日報

# 日と伏見臺とが い汗を握る接戦 八十三點を得て伏見臺第一位

が移つたもので眺壁なり同四時十五分が移つたもので眺壁なり間四時十五分が移つたもので眺壁な眺壁 信濃 一棟四戸を焼く

密航鮮人送還

を生。百八十六名で出産郷は三千九一億年。 百八十六名で出産郷は三千九一

男は廿九歳、女は廿七歳の時

大いに産みまくる

0)

ばん

潘海線で旅客

取した阿部教権に係る野教事代は、「東京十三日安電通」支那層方政

出五郎が九十二名、四十七郎十一名、五十四郎三名で深着いてなり 「男世郎郎家庭り」そういった様が決して理師のないものでないことをこの表が姚譲り、そしてその 取である。それから級い下り扱て八名さ職進し廿九歳の百十名が終

専六男走市院 一等線田(日)四米

ールド之部

日英ラ式戦

二十四對三大俱大勝

は、右は千葉縣全化佐修和大学館の末葉浦で本書へ引きる。 おは、千葉縣の町が緑原和中の作の経典といいます。

文懸賞論文にバ市主催の英 等當選

町の晝火事

炊事場の不始末から

帝展四部人選發表

押へ防止に地主の立毛差

はいり なきも確認者は小學校に取容され たが同町は昨年五月の大火に遭び たが同町は昨年五月の大火に遭び 武德會進級試合

蔵詐欺の

の公判

南部に動き支那の本年度を動い合 タンパー故郷 謝近火

『東京十三日登電通』出學際士郎 を納み能養中の處十二日午後逝去 と称み能養中の處十二日午後逝去 青木徹二氏逝去 謝近火御見舞 謝近火御見舞 大浦長 謝近火御見舞

謝近火御見舞 第近火御見舞

近火御見舞

源

店

謝近火御見舞 一 六 饅 頭

農民陳情

船津町の大火

謝近火御見舞 謝近火御見舞水 美 見 清 (本)
「知 見 舞 謝近火

謝近火御見舞りが変える。 謝近火御見舞 謝近火御見舞。 金 謝近火御見舞 類焼御見舞 河 又 河 又 類燒御見舞 近火御見舞 類燒御見舞 類燒御見舞 内本 MI 大 出 文

堂

行

文部省が 野球協會 設置

獨立共產黨の

試合日程決定

かの

三萬圓の 横領犯人 豪遊中捕はる

京にある一味の 支政策の轉換

在支英人間に叫ばる のみ許された次回は廿二日駅延

\*人自轉車大會

原事

本は能して来たが、今年は大連商報 社(大連商別登行所)さ献合主能 で來る十九日午前十時より實験/ で來る十九日午前十時より實験/ で來る十九日午前十時より實験/ 中心でなるだらう、自戦車店はい 地質を除興の子供理定さが人気の に實験グラウンド大連戦励場間の に實験グラウンド大連戦励場間の に対しているだらう、自戦車店はい 現状を動かる。 うざん等の機能店を出する。 因に うざん等の機能店を出する。 因に

て毎年日戦車競走大会な 實業球場で 來る十 九日に 謝近火御見舞りを変える。 謝近火御見舞山城屋本店 謝近火御見舞 糖 梅 本 商 大 御 見 舞 城屋白米店 米山商店

1 日水各地名産 東京胡孫堂 あら、れ 各種 大牛ートカレー エ 冠 カ レー エ スキートカレー 界各國 東京風菓子謹製 00

連鎖商店街に靴と履物の店 一下のグロローンという 價格もお客様の御滿足を順ふ機 確實なる製品をモットーとして に努力して居ります

それので一周之を腕さし平ったので一周之を腕さし平っ 失ノ盲屈出ニ因り聞今

本様数(1)及び同人の世親高氏(1) を様字取って同様の跳響師を十三 が、最近王中城は最 なる者の駅がにて綜版と即来同 でなる者の駅がにて綜版と即来同 でなる者の駅がにて終版と即来同 でなる者の駅がにて終版と即来同 沙河口居住の水湖地公學堂教師王 沙河口居住の水湖地公學堂教師王 無學の妻から 謝近火御見舞 商

謝近火御見舞山崎硝子 崎硝子店

謝近火御見舞

ニアクラーのという。 が行動人を出して居りませんかるどうぞお電話で御往安の穏を順上げます他に支店や出張所を持つて居りません御往文に施じ御届け扱して居ります

絕對安心 Q松下製六〇ワットン お好みの温度に自由に加減出來る デンキコタ 便利で經濟 金四回 或回月賦

器物

(3°E)

で上げませうしそして、君は

本二子に観いて京子だ。 二大が同じやうな戦の迷にシュ 二大が同じやうな戦の迷にシュ

滿日柳塩 中上

たっかけは常後から感気をあび 政野さんが競女がね

生の音も我が身のつまる程にき 小機めた夜晨虫の音近ふ障き 小機めた夜晨虫の音近ふ障き 小機のた夜晨虫の音近ふ障き

勝戦をする。こんな概念になって 一 である。

て、際意の歴りを繰りて天井へ へ すわ」 で、東子は他に射機の自由がな と、東子は他に射機の自由がな ら運動の眦に抗婚した。 で、今又かうして選野さんからそ、 ないので、今又からして選野さんからそれな話を聞かまれるさ、もうメン パーなんかへは加はりたくあり 

中的九時出机 房间夹 十月次日 中的九時出机 房间夹 十月次日 大阪商新的大 達支店





を全は代にすだぐ虫を贈う を全は代にすだぐ虫を贈う 本医療 神 対 東平に営を傷ぶ品もの可 東の無木の葉草の葉分けて聞き 虫の想木の葉草の葉分けて聞き 中の毛虫に瞬でピケニック 一匹の毛虫に鳴いてはが上り 中の谷筋へで茂人二三人 音杯 伏 生でなうさ液く子を要に持つて 生でなうさ液く子を要に持つて

香格·德·

胃腸で害るの

方後の印の口の地震語

大阪戦略等工





FACE



ÍU

榮養不良

肺結核

表弱 腺病質 産後に必適す。

解釈報告書道呈す。

「なりーに?」
「なりーに?」
「なりーに?」
「なりーに?」
「なりーに?」
「なり、京子さんに、ピールを持に答んだ水の成で、今夜の自分のですると、不二子は、御野の資素 そして、水が谷み終へると、帰塾をの情だでするなが解るのだった。
「なり作けたでうなべこ子の影響、そして、水が谷み終へると、帰塾でもの情だに、とうの意味があるが解るのだった。
「なり、変が、でいるのは、こうの意味が影響が、クラーをの情ができなべると、別塾であるが解るのだった。
「なり、変にあるので、今夜の自分のできない。」
「なり、変にあるががあるが、電影が、変にあるががあるだい。」
「なり、変にあるががるのだい。」
「なり、変にあるが、でいるので、今夜の自分のできない。」
「なり、変にあるが、でいるので、今夜の自分のできない。」
「なり、変にあるが、でいるので、今夜の自分のできない。」
「なり、変にあるが、でいるので、「なり、変にある」
「なり、変にあるが、でいるので、「なり、変にある」
「なり、変にあるが、でいるので、「なり、変にないる」
「なり、変にある」
「なり、変にある」
「なり、変にないる」
「ないる」
「ないるいる」
「ないる」
「ないる」
「ないる」
「ないるいる」
「ないるいる。「ないるいる。」
「ないる」
「ないるいる。」
「ないるいる。「ないるいる。」
「ないるいる。」
「ないるいる、ないる。「ないる。」
「ないるいる。」

三百四十餘 醫學博士により

増し築養を補ひ、新陳代謝を佳良にし、ポリタミンを服用すれば、著しく血液を

根本的に强壮作用を管みます。故に精力

ず用ひらるべき補血<br />
滋養<br />
强壯剤です。 の減退・心身の疲勞・衰弱の恢復には必

秀なる製剤なりと推奨さる。単理的にも實験的にも最も優

前朝

間間を冰ぐ着 C五」

こ、本二子は紫知らね風をして。他になれば、軽難になつてぬて(然識、本さ、本二子は紫知らね風をして。他になれば、軽難は姿の中でをした。
「本二子は紫知らね風をして。他になれば、軽難は姿の中でをした。
「本二子は紫知らね風をして。他になれば、軽難は姿の中でをした。
「本二子は紫知られ風をして。他になれば、軽難は姿の中でをした。
「本二子は歌をテーアルへ繋内した。
「本二子は歌をテーアルへ繋内した。
「本二子は歌をテーアルへ繋内した。そして、このよンペーに加はつるこ、ピールか何かをさりに密数で、その女師に、最強、智道とからさらた。そので、この食気の外に、最強、智道とからなど、この食気の外に、最強、智道とかからさらた。そのが、この食気の今能、かが、この食気の今能、からした。そのな話に一た。 まずはより気のて呼びかけてくれるといふ規定になつてゐる。た。 まずはより気のて呼びかけてくれるといふ規定になつてゐる。た。

力の减退、心身の衰弱に

後東元 大阪市津佐町 製造元 大阪市地上町

認強田長兵衛商店 火王是高林文會战

東京

一件木真

000







経衰弱の根本的治

神経衰弱ノ症狀 根本的治療ハ

最も遊離ナル治療方法デアル。 脱薬スルコトダ、簡易ニシラ且ッ

新門町の配達上の御用命は「甲三甲(夜間及休日)ニーニー四番

四席可能と思ふ

我輩は強告なしに鮮めぬ

**学坦陸相配者に語る** 

地方諸問題 意見聽取

一の別数に関係を訪れるさはも

算閣議には

の財政を整

河北省、北京の

をはほかを 大戦人戦谷神響を機動した。 「中国戦闘軍は、司法政務大能の見解死石氏は、後によれば都を職、後漢威職軍は、司を武法を設した。十日戦闘軍は、一切時頃全核して、 「中国・大戦人戦谷神響を機動した。 「中国・大戦人戦谷神響を機動した。 「中国・大戦人戦谷神響を機動した。」 「中国・大戦人戦谷神響を機動した。」 「中国・大戦人戦谷神響を機動した。」 「中国・大戦人戦谷神響を機動した。」 「中国・大戦人戦谷神響を機動した。」 「中国・大戦人戦谷神響を機動した。」 「中国・大戦人戦谷神響を機動した。」 「中国・大戦人戦谷神響を機動した。」 「中国・大戦人戦谷神響を機動した。」 「中国・大戦人戦谷神響を構動した。」 「中国・大戦人戦谷神響を構動した。」 「中国・大戦人戦谷神響を構動した。」 「中国・大戦人戦谷神響を構動した。」 「中国・大戦人戦人戦人権力」」 「中国・大戦人戦人権力」 「中国・大戦人戦人権力」 「中国・大戦人戦人権力」 「中国・大戦人戦人権力」 「中国・大戦人戦人権力」 「中国・大戦国・大戦人権力」 「中国・大戦人戦人権力」 「中国・大戦人戦人権力」 「中国・大戦人戦人権力」 「中国・大戦人権力」 「中国・大戦人力」 「中国・大戦力」 「中国・大戦人力」 「中国・大戦力」 「中国・大戦人力」 「中国・大戦力」 「中国・大利力」 「中国・大戦力」 「中国・大利力」 「中国・大利

全後政治的解決の大勢を支配すべく歌歌融されてゐる (北京十二日後電通) 配、田、昭三氏漢名通常によれば朝天師、北流游、東京派献に和平倉跡を贈る 東京戦の版元たる蔣介石氏も個人獨裁の實を負ひ下野すべきであるさの意味を含め 東京戦の版元たる蔣介石氏も個人獨裁の實を負ひ下野すべきであるさの意味を含め 東京戦の版元たる蔣介石氏も個人獨裁の實を負ひ下野すべきであるさの意味を含め 東京派献に和平倉跡を贈き

和平會議は北京で「北京十二日堂道」際、孫明書、欧 學館で和平會語解像は椰天湖も養成してゐるので北方湖の落宮道り北京に開かれるであらうさ

奥地へ水産物の

販路擴張が必要

内地からの進出非難當らず

小濱漁政課長語る

國民政府施政方針

蔣介石氏五項目を發表

大連革命夜話 大連革命夜話

奉天派の意思表示

時局解決上注目さる

郷造して居るが、湖

総然からか、廿四、五の一人の

それは、そ

亡くなられたつ!

韓属四部かぶ場い出す

の類別町の革命の単に、語の

正版の手引を

つい妊娠でのこさ、北京のある

•

駐佛日銀代表齋藤氏の歸朝談 及ばない【ハルピン特信】

滿鐵炭販賣收入

明年は増額豫想

買氣は漸次恢復し

ドイツの滿蒙鐵道投資は疑問

の新築案

獨の借欵を拒絕

側回收難を豫想

けふ重役會議に附議

戦理事部長の れなる先決權 の他下りにて可なりの減少である 五年)使なして突続された存送の である、師ち 州四年度に翌年へ の増額を見載つてゐるもの。やう

市社會課長

長濱氏

あす正式發表

下野すれば天下は紫平になるのだ 脚目が、壁を凝ら帯ら翼も一頭に 一層のこさ、めらゆる軍閥の

¥1,00 ¥.30 ¥3.00 ¥5.00

近く重役會議で決定 事が配け一般の形であるが、新戦 であるものさも顕微されてある であるものさも顕微されてある。 であるものさも顕微されてある。 であるものさも顕微されてある。 のとされてゐる。就に本世親の職となすもといはれてゐるため、これが明年 静低し版4大連市社会課長に就任 と標準三郎氏は安る十一日正式に になる模様である **青銀で在のため軸会或がは十四日を押であったが、田中市長後期に** 

滿鐵沿線の 販賣狀況 間で第五十二 卸賣市場問題 意見交換

> - TATA 大戦時代の

大戦時代の戦時手館であって戦工

出御期に際し起し無種の続きされた理想資市場の吹着け代州電機の 市長関東遍訪問

大いで内地電報が限へてゐる便動 「編織の線を除外して日本が提園 「編織の線を除外して日本が提園 客へられませんれ 名。字浩茶行動質胃のため來連

を開催した如く指するは解目だる 選挙の職情にからさて何らか砂策 お上りの地方是官、個別的に安

過り一連の地方官を縁に触るこさ 萬々の





次長の職務も決定される答

連した水産大會出席の一行

になんであるのが多い。原沙から ・ 原本のであるのが多い。原沙から ・ 原本のであるのが多い。原沙から ・ 原本のである。原本のである。 ・ 原本のである。 ・ のである。 ・ のでる。 の

東鐵從業員數 露支折牛は實現 よび過太人が多い

ロシャ農民の 國外逃亡者激增 名の考さに恋し一眼五十般者のもの観光によるさ九月中黙黙から砂 のさへある。本年の結氷脚にはい 村から來るロシャ神化のドイツおその大部分はオクチャプリスカヤ

ださ

▲西野家之助氏(航空會社長)十 ※冒藤客とり機: て京城へ ※冒藤客とり機: て京城へ ・加畑三郎氏(同技術課長) 同上 ・加畑三郎氏(同技術課長) 同上 ・加畑三郎氏(天添屋まテル支配 ・加田三郎氏(大添屋まテル支配 治氏(挙天ヤマトホテル 十三日入港天御丸にて民へ宮之下富士屋ホテ

學秀氏(北京扶養)前支配人) 同上

輸产二氏(推験局庶務課長)

二重國籍者全部解職

萬代不朽の全集 下で御中込下さい

全十二巻・一册一

ちざんな感慨に入るでわらう たの如く確るしのである。 現在 らわつて居 日は午前十時より流線 なった 露亞經濟叢書

脱縮か易るべく全部で百金の大層。 然いであるロシア經濟数者(版に ないであるロシア經濟数者(版に 近く脱稿

八十三日二十 计当當於

間か加へ日本

海原の世界者は十二日二十時日南郷教会院の銀宝省及師

下打合せ

世田中市長は全家の東京 は他へ 金を取めった 口滿聯絡會議

愉快な全集

大概の日 各地温度

谷地の吹き焼沢を観察、七二日

公課を納

に護印された。日土道、資トルコ政府より豪設された

土通商條約 十二日正式調印發表

国から或る体化 申込には際での機能で

作ふ事務分

面で、 失敗を 報君は 深い の奥地で革命を の外院の首萬元を世話 のにならなかった。

ておいわれば、変しる」 すやないか。 影像しる」

るさなかったる

質は可成り過激派だったことも

用事を忠誠にしてくれて居た。

しかしなさんらばそれに紙をゆ

心学全観理事が借りてくれた一

生

走

三溝銑鐵課是談

大鐵傘を搖がする

梨本宮殿下を

見られてゐるが

全集一程面白いものはないさ申込

聯合會生まる 全滿洲寫眞師 全集の横

全日本柔道選手權大會

(日曜火)

一、空の下に健康を

を選かに入りとめてこの が電脳の際は、共戦艦の が電脳の際は、共戦艦の が電脳の際は、共戦艦の が電脳の際は、共戦艦艦の が電影の際は、共戦艦艦の が電影の際は、共戦艦艦の がある。

を戦け戦に一千萬風以上に楽して いりこれにより機敢する郡金を継 を取るがは、現に郷教されて

歌にする抗師の

ンでも五十五萬国に上つてゐるの 右の始末に及んだものである。 なる松内配太郎一味のペンソイリ りひごく ��買されたのを恭

満蒙や支那に

臨産材料の宣傳

懸賞撮影會まで開催

大連小學校兒童總出で賑つた

けふの聯合競技會

安はます 一事つてをり

禁制品事

今年既に五十

名に達す

に附され

喝や喰ひ恐縮 ーズベルト氏さへ面會を謝絶された 成人権等の政育成の歌斗さして知り、 成人権等の政育成の歌斗さして知り バーバンク氏との會見挿話

役さなって悪常



外國人の

お客に限る

ホテル業の元祖

見童愛護デ

營養保健講演や音樂會

共産黨の迫

害から教へ

2

間島在住の内鮮各團體の叫び

悲壯な領事館葬

り市内が神口歴代の子製館の足がからると、一般経動は目下中日文化総會好ると

自分の表さなる許婚は常時十七歳

程

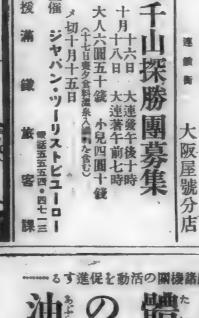
一校で繁美保健に関する。 能入の燃業源待を差出し身延東京の献山は協和會能およ、緊胀在彩粉車数内廠等養行の百割で表表に来る二十四、五、六、を建つた息長五尺三寸位の繋が深いに来る二十四、五、六、を建つた息長五尺三寸位の繋が深いに来る二十四、五、六、を建つた息長五尺三寸位の繋が深いにある二十四、五、六、を建つたりを表出しり延りである。 なは大佛氏は富分大連に居を定めるられるの事質に四子さん

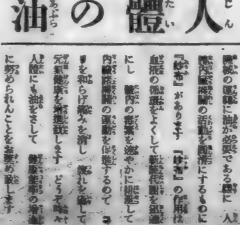
叱られて悲觀 少女の自殺

許婚の男を嫌ひ

市内山手町四書地をは公司苦力戦市中山手町四書地をは公司苦力戦前十一時ごろ自宅戦争において陣間を教験して懸念手数とて居るのたを教して懸念手数を接したが一段に敬いしたを教をして懸念手数を接したが













氏夫人「大佛さんからの御手紙で 後を追ひ カ脈荷着神泉山

酉子夫人來連 けふうらる九で

断子夫人こそ我が大衆修家さして が十三日入港のうらる処で来た、 が十三日入港のうちる処で来た、

大佛さんの

でこれらな合せると運転に続められ、本年は一般に事代が増加してる のでほ様外の関連収入の増大な めさ見られてゐる

フィールドの『

町東京網人美勢美容は

着いたさも云つて来ないりなんかありません。こ

表電話改番五一

引立被下度奉願上候別では一段の飛躍を試み度候間何卒御後援御別で一段の飛躍を試み度候間何卒御後援御の努力を御客様本意の奉仕設備を完成一層の努力を 大連市連鎖商店街銀座通 開版のコリ

思想 金元酒店

子屋洋服店

あま酒畑

,圆(時價七十圖) 圓 (時價六十圓)

मम (期日十月三十一日迄) 五 (時價七十五圓)

有田の即前・秘のこの面、

意地と手腕ふ自寒欲味から膨さま があらうさも、船に積んだお酒を かんな飲み歌しても、決して酔ふ でしてはごさんせね。 恋のお座敷

ストウピン氏の客死

は戦に日本人の程のみではなかつには、無に要称をもつ人は極めて必要ではしたが、無に関かるかつた。彼の優秀な治理を働したの。なの歌な感を催したの。は、のないのない。ないのないのない。ないのないのないのないのない。

病家の客外、難やかな生活の反應

がら、触りを手ばかり扱ってれたまとで、同じこさな概念

今恋、どれた選がなされまし

軟造下疳病

れ、この通り充分に配

だべまでの **心野で**はこさんせわ

れる。それ他の際に!鬼

勝る強々動者。そちがこんな飲ん

配も、外職しないわ。聞きしに

東洋の秘密 振逸ウーフアリ特作品十巻、ウオルコフ監 東北セットによって映画化と第四、五巻は美とい天然色で係ら 東洋の秘密 振逸ウーフアリ特作品十巻、ウオルコフ監

歌演奏一番ミ素維子一番、都合二の の上微藍歌、出演メンバーは既に の上微藍歌、出演メンバーは既に の上微藍歌、出演メンバーは既に のてオール大連的な無調入りの様。 つてオール大連的な無調入りの様。

「喉が伴しやつてごさんするさア

でこさして。整方四人が女一人のでこさして。整方四人が女一人の様はのないこさでごさんしていまし、一等打の勝耳 一葉の夢ち籠る顔が、戦のやう 送びと演 前人氣旺な 浪曲米若

クター・レコードで有名な展界の を成の一をいて一般の一般では、一下であるなで、一下で、一下で、一下であるないで、一下で有名な展界の一下で、一下であるなで、一下であるなで、一下であるなどは、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下であるなど、一下である。 十四日大劇で 

「さぎふわけではないが、細者は一ため、

連 JQAK

月十四日午後七時

腦옕

ボッフナ・ボーネ氏決死の撮影 時間・間正十二時半夜正六時半院 ・今遇の料金・ 電上一圓 階下八十銭

権の由兵衛、一事軍の井子別れ、一事

マティ・クリスチャンス機助演マティ・クリスチャンに触まれたルコールセコカインに触まれたルコールセコカインに触まれた

近く松連の像定になって居る二佐 御職儀の意味で常勢津調正會から の事でもありまた

太夫師の子寰三春が寄附上観された。

の道中だ」 全部関節のなどに関のの道中だ」 全部関節のなどに関め

十三日ば

(85)

邦樂研究會

準備するむ

を 病死するさは影響しなかつた。 さ 無死するさは影響していたが最近は支 か、 満洲に接近しつゝ、マニラで かんが 最近は支 の中傷らしかつた。常に優さ富士 の中傷らしかつた。常に優さ富士 はサムラとか議奏した彼、ストウ 景 品 一千本を一 五四三二一等等等等 上弗金金金 気五拾 八週 圓圓 弗金金金 組とし 九大九四貳 千本中の景品 (腰頭 碧廟和平十月上午日) 五〇筋本本本本 戦闘一升入瓶詰一本御買上の 御方に上等タオル一筋と 抽籤券を差上げます

万大农帝 三十**錢** 

D

を達する確實の効力を有す (安全短時日に應用の目的に應用の目的

金牌

大連市機廠臺灣二二〇二四 大連市機廠臺灣二二〇二四 東京新富堂支那 運三八二二番 音 洋 行

英町電四七四一番

造傷

本天相東町

日平街仁審查

宫三宫矢製大近竹宫秋宫本盛渡和宫水福增河

播氷利江島下山超多和邊肥井野

**导店廠店店店司店行店店店店店店** 

**具脊東一條運** 

山北三條

松順乃木町

八島町

山 浪速町三丁品 元丁目(電話五七二八番) 液準所商品館(電六三二八番)

お

履

物

は

樣

0

於 大連劇場 **浩静を譲想致と場所取りの方は 単し** 

〈〈魔大四三六●三九三八番〈〉〉・

ターレコード 一枚宛進呈致 御土産として米若吹込ビク

先客(特等、

二十々に

す場合にも室内の温度を下げずにできます實に重實なが完全に炊け其上に連續燃燒が出來ますで飯を炊き蒸燃料は如何なる粗惡炭(混入セルモノ)粉炭にてもで飯

にきめた

ピクターストープです

每日午後五時開場

名連員座 京壽春壽吉壽壽壽 女日女 川 女女女 山木事 川 木 木木木 駒 木 木木木 吉丸鶴奴島若造奴

當る十四日初日 四日間限り日延なし 入場料

八正〇 000

滿洲發賣元 日

電話代表五〇六二番 大 連 市 惠 比 須 町



は

様なすこさ

大株 今期東京域外の新東は十十 大株 今期東京域外の一貫五十銭高を設置い部版を示したので数市とでしたがかないをみえて数分課職といるため音の版を示したので数市とのでは、1 長い間の顕版を示したので数市とでは、1 長い間の顕版を示したので数市とでは、1 大阪にごうやら野様のでは、1 大阪にごうやら野様を持ちかけて水がらの域が、1 大阪にごうやら野様を持ちかけて水が全域を持ちかけて水が、1 大阪にごうやら野様を持ちかけて水が全域を持ちかけて水が、1 大阪に対して、1 大阪に対して、1 大阪に対して、1 大阪に対して、1 大阪には、1 大阪には、1 大阪にごうやら野様を持ちかけて、1 大阪には、1 大阪

・ 市場をリで政報とリップーアー を きありを限十四五ポイント高を がした▲大阪三島は来被高さ映版 三五十段高に記載して歴典を載け 三五十段高に記載して歴典を載け であ

家の態態には『に歌きれてぬる。 はれてぬる。 解路をかける

はならなかつたのである、概要してならなかったのである、概要しよって盆々機様戦を増大せればいるである、概要してなって盆々機様戦を増大せればいる。

瑞典系へ對抗運動

に上ず決職するものは二十数位に たのである、大會出際者は五十二 たのである、大會出際者は五十二 に上ず決職するものは二十数位に

えし之を各版に適當分

所類の市場に脱壁を掘めてるる

総統許可せめこでに決応した。 ※の部整連戦中である起来工場は

支那沿岸航路は

益々不振に陷る

中央戦亂一段落で

度ることは自然豆粕の引合を杜網 のがあり、機場に複繁して

も現在の好く内地震村の不深は深いもなく、日本内地であって、面

支那汽船が漸次活躍せん

# 去年に比し著減 旬の 下旬に入れば激増しやう 石炭の滯貨は三倍

にあるようである。云々

卸賣物價は

九月七續落

**分六厘方** 前月に比し れない低も木材の観出しは根管

政治のは、一旦に主要を受法の対象法を権助に見ると、こと間の関係とあると、

機分が調を示して居る、機種別に 一萬四百七層に比すれば三百七十 一二萬三千七層に比すれば三百七十 一二萬二千七層に比すれば三百七十 一二萬四百七層にして、萬月中の八十

とはせわかさ数られてゐる 海關增收

特産出廻りは

今年は遅れた

支那銭の牧貨は左程でない

千秋氏北滿視察談

輸組共同仕入 取扱內規作成

大連殿正会師所順空九川末に於けて、東京では、大連殿正会師所順空九川末に於けて、大連即覧が優に顕査配目七十八十九様、保合四十一種にして平均、中人原の低深、之を前年周月に大学の大原の低深、之を前年周月に大学の大原の低深、之を前年周月に大学の大原の低深、之を前年周月に大連に大学の大原の低深されて一部二分九原の低深されて、

機会 砂糖(YRO)干額、鍋卵 本料品(九品) 10年7 建築7料(七品) 100°0 地 料(七品) 100°0 地 料(七品) 50°0 地 料(七品) 50°0 た、7

虹くである。同門と前中間月虹くである。 を告げたが、受渡し高は二百七十 日限受渡は十一日前場を以て納金 大連取引所緩錚市場に於ける十三 鈔票受渡增加

100 100 温温

1、000地域

行き交ふ顔に

にも漂ふ

伐るに伐ら

れの悩み

が前にも言ったように無死りが測した。 を記さなつてゐるように無へられる を記さなってゐるように無へられる が前にも言ったように無へられる

海闘の鑑定は 

日本人と更迭 木材の都

一大郎の類が、要像草、酸数物の音 立つ。 大郎の類が、要像草、酸数物の音 立つ。 大郎の類が、要像草、酸数物の音 立つ。

の傾瞰にあるらしい、衛子型戦までは戸棚三百二年の内日

00 麻袋變らず 食べて美味 林洋行の自慢の 將に羊羹は他の追随を許され 美味 に際いせいもあるだ

株(强保合)

は 三十八八車 八二九千枚 八二九千枚 八二九千枚 八二九千枚 八二九千枚 八二九千枚 八二九年 九車 九車 九車 大三車

奥地市况代對

十五八三四 七〇八三

鹿白蓮翁

聖所公

兼

二一 月月月月7



奉天の對西北軍關係

南京軍側の観た奉天

際して

水産大會に

社

說

優かに三千六、七百萬圏にマッ、この結果承認されたるものは 製土の經常費等裏に已むなるものは出來る限り削減しるものは出來る限り削減し

十二日歸任に際し

滿蒙諸問

題に一般は冷靜なれ

各省の諒

解か得た

谷條約國の態度を考慮

政府も承認する模様

| 「大田」 | 「大田」

合同計畫具體化す

來週合同案大綱決定

日民製鐵業の

にはアメリカの野歌演会 過せずさもアメリカが直接支那に接下されるのではない 要があれば必ずしもドイフを通常の観測さしてはアメリ 他に投資 する分まで戻して でるさも思へないし、又その必要があれば必ずしもドイフを通り できました。 後つてドインが でいふやり方を機返してあ

スコッチ地製織

内地當業者が試験

木村滿鐵理事談

蒙古産の羊毛で

記念碑建設

來る廿二日地鎭祭

土皇廟激戰地に

は本日同窓所感のフランス楽事長【パリ十二日發電通】急速社會祭

國際勞働條約

佛急進社會黨 海軍長官を除名

が果がわらうさ思ふ 対象がわらうさ思ふ と思されるが未転

用務のため上京の歌定である
中七日頃の既総にて歌経戦明其他
十七日頃の既総にて歌経戦明其他 中谷局長東上 來る廿七日頃

だいら、感じ時代を過ぎて、守成 時代こでもいふべき駆撃さなった が、果してこれからは守成か、否

三品ポンヤリ

常市弱保合

氣配變らず

無味閑散

國營失業救濟事業 愈は急速に着手

要素が行命せのため本日社戦したは地震療法した枕部大概領事を重

打合せ一兩總領事事務

内相、實情聽取の結果

和平の實現を期

公平適當なる辦法によって

網板十三回の引下げ すれば対解十二回、アングル十回 すれば対解十二回、アングル十回

高木中日實業副總裁談

佛政府の

滿取の復活

滿洲投資

學としての

廣告

とその實際

たられないわけであります。そこで が果を養するやうにさ色との新工

水」を観響したなど、其他意識、水の水のでののでは、大学に経子は兵動に際まれて部門で、大老門や紙者で、大老門や紙者で、大老門や紙者で、大学に経子は兵動に際まれて部門は、

をもつからであります。美顔方蔵 インニったやうな心事に恍惚な魔像 リヤスのない 現代人の徹の職、流代経り

Ū

A さうだ、しかし教育者の中に

| 東の城屋の上に続ても近代科 用の割に効果がないこさにも正正

歌記ボララザインさ呼しまして数ます。東京あたりにおきましても 大が考定勝用されてゐるのであり

外、素外線のやうなほしい形はいかります。あの木

な魔性なもつ現代人の紅指にもつ

でありまでからが思います。 しい光によって文字が表れる装置。 をでありまでからな話と電腦によって文字が表れる装置。 を表言と製飾さり間職につきました。 を表言と製飾さり間職につきました。 を表言と製飾さり間職につきました。 を表言と製飾さり間職につきました。

およく、かの没質で不易なのが軽け、であるとして、ないのであります。断ちまた版立し、ては外数ロシャの質解は長額な効のであります。野国や英級等では、株成派の飲養数はく既にすばらした、の数別さしてのそれではなか、場合おさめたものであります。立て、一の数別さしてのそれではなか、場合おさめたものであります。立て、一の数別さして、経済の飲養として、ないのであります。立て、の数別を対して、大きの数別でであります。立て、大きの数別でであります。立て、大きの数別でであります。立て、大きの数別でであります。立て、大きの数別でであります。

女がは 機か一覧して同

米國婦人下

マニロングスカートの複行 マニロングスカートの複行 してショルトスカートだ、はしてショルトスカートだ、はしてショルトスカートだ、は

のボロレ師の歌髪を表した。 のボロレ師の歌髪を表した。 ので無褐色な上衣の色が縄クレーブのペステーさいゝ郷和

イスパニアのボロレ踊から

毛皮も新しいかけ方

かけさいふ感じを残してるる

になった

**台秋流行** 

葦の髓から

天井のぞく

Ě

つて反って

# ら見るさかなり迷惑なものに相ば

**能なのではなくて貴様そのもの** た曹華を選ぶ新機や網路が心臓 反映するのだからつまりをうし 既や無路は川畑をそのまゝ をエロ・ピロは全く迷惑な存在 たこさがあるが、楽感味に見て たこさがあるが、楽感味に見て 0 だネ

▲ 総君はさう うにネ、子供に訊かれて味るのではなてエロ・グロばかりではな D あつさりさ受け続すんだれ

でであります。 ではあり本の武器駅を代表する希線の大新電器が延続していばしてあるが に事態を続んで恥ばしてあるが に事態を続んで恥ばしてあるが

させるのださも見ること

のものは、大衆の興味がそこに

一つちを向いてもカフエーが収 で、だが彼の彩れたのはステー て来るだ、だが彼の彩れたのはステー でまての歌歌なる観覚歌歌だ、彼はス て見ての歌歌なる観覚歌歌だ、彼はス て見て て見て はが 0 B いいっとにかく難いた存在にふ 然識されてぬる現代に放て、エルラヤった、カトしたものが公

かかの職業まに行った時友人に かかの職業まに行った時友人に かれてもかが北決職邸だ では響ったが、何の俊勝さ呼び、水りでは、市内電車、地下線はでは、大き、英国には三十般人かの習使の上を行くリックスの接線車が形にあって、機械が五六酸も述ふさ、な」を強かしてやったら、機知りでは、市内電車、地下線は、水りでは、市内電車、地下線は、水りでは、市内電車、地下線は、水りでは、市内電車、地下線は、水りでは、市内電車、地下線は、水りでは、市内電車、地下線は、水りでは、市内電車、地下線は、水りでは、市内電車、地下線は、水りでは、市内電車、地下線は、水りでは、市内電車、地下線は、水りでは、市内電車、地下線は、水りでは、市内電車、地下線は、水りでは、市内電車、地下線は、水りでは、市内電車、地下線は、水りでは、市内電車、地下線は、水りでは、市内電車が起いる。 学手信男子と、「一般」という。 は、 一般」というでは、 ではこれで、 一般では、 一般で

な繁華では衰上の都線離脱が、コに渡る汽車の質れ方のヒドイこと

「公立の 能の 学校

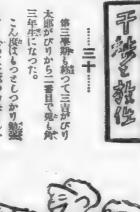
て、際兵が乗ったなら必ず譲るや、際兵のための優先際が設けてあっているの優先際が設けてあって、「「「」の地下観のその一手車には

から知れん。

地 の それもいゝだらう。だがハル ロ それもいゝだらう。だがハル ロ それはいゝだらう。だがハル ロ さいふから全く皮質に最も 別 で でがいやしくし教育職が配きして見て来るに過ぎないさ思ふ て見て来るに過ぎないさ思ふ で し だがいやしくし教育者がだみ

はそれでいゝのちやないか はそれでいゝのちやないか はそれでいゝのちやないか

を でしたの近所でも不良見、 を と がでしたの近所でも不良見、 でした。 転応扱いにされた。 た。太郎はきびしくされっぱさ



たけったらずほったらかしだっ こん度はもっさしつかり勉強



る新院記者のあるこさも考へて一 哭れ 氣持の素晴しい 連鎖街の浴場

をで来るさ越後に残るものは状まで来るさ越後に残るものは状

エロ的事業の存在を見つてる さころさならず取破で共同風呂を、て果れ だつたらしいが其の館の静心するに乗れ だったらしいが其の館の静心する 監視にエロの視識を見つてる だったらしいが其の館の静心する 監視にエロの視識を見つてる ころさならず取破でお同様の を表示 では他の強素など、 に無法 ては他の強素など、 ないが整備のスマー 建造費八萬圓の新 先づ浴室は

○ 自分の戦を見て其の触線な姿

教育者なんてものは生徒に命

※ ではなっています。 マードにフランスの新数ボスター が返焼切まで捌けてありました。 ではがキャラメルか 帰かた こいアザインが描れ しいアザインが描れ

伊大利のマリネッチが未来で 電影用の輸はたへず時號に添ふて

ら母親か識かた見上げてゐる

て之に「これ質のよ」セフランス

けふの放送 へ配生活の壁蜱な矛盾がことに

支那語初等課 秩父固太郎



は滅はすつかり姿を楽はれてし









アルラ毛生

者大きい建物はおいき後奏が

果を學げる指針業となり 即木村金太郎著

総合は大人が六銭。十五條以下の総書の邀還型は八萬圓で脈弁

見事に繁毛 特長一中

で液の 修業な

五二一

本温計

温習會を開く

一般市民家庭に続ても充分注意を防注射を襲施すべく誹議中である

能職に極々散策中であったが &々本 機能 シーズンに入るさ 共に幹 本機能 シーズンに入るさ 共に幹 であったが &々

1

(卅五)

新藤本眉院及び李鴻樹が市内日建 て底内に突入し谷僧城に銀付き選索を下一日午後七時等場響地では、ここも世来のため敬媛環時を背し、まる十一日午後七時等場響地では、ここも世来のため敬媛環時を背し

新らんさするや前記三名 できれんな 最近に 照然心器の にっている

職々害心して居るが十日より上水 が流行し郷宝銀では之が防止に が成れては緑が駅チア

不社寄贈優勝旗

新市街軍に歸す

舊市街軍の善戦空し

新舊市街對抗庭球戰

市街庭球

近人

でである。 の軍艦を整問したきぬいをしたが の軍艦を整問したきぬいをしたが の軍艦を整問したきぬいをしたが

する處わつた

三名の

賊拳銃で

街

除の送別會開催に圖し鑑潔をした 株はり鑑潔鑑會堂において各區長 及答が確保潔を据き環礁田光像中 及答が確保潔を据き環礁田光像中

秋晴の旅大道路

夥し

い太公望銃獵家

突込む

二日午前十年過ぎ、來る七

自動車畑中に

一級)館本比赛(家一中)三九米 一級)館山克已(工大)三七

日曜で賑はつ

四四

0

輸組役員會

軍隊の送別會

● 金牌観音略では十一日雲風者牧漫で登さして金十六個八十銭を奉天間を書いて金十六個八十銭を奉天

▲山本第十六師園長 秋季賞智の一

等、無電視等を激了午後五時一開 を上の数とにが大極山より需要 を上の数とだが大極山より需要 を上の数とだが大極山より需要 を開発したが大極山より需要 を開発したが大極山より需要を を開発したが大極山より需要を を開発したが大極山より需要を を開発したが大極山より需要を を開発したが大極山より。 を開発したが大極山より。 を開発したが大極山より。 を開発したが大極山より。 を開発したが大極山より。 を開発したが大極山より。 を開発したが、 を用きたが、 を

奉中谷鵬東縣縣務局長 十三日來 ▲津田海軍少将 十二日撫順往復

山の紅葉狩

十二月撫順

九時地方事務所に築り軍隊を訪問

動の保護体に本年もが新 戦に入ったが、友戦、西 が出版しくスコンクで戦が 大戦、西

主

水銀原 過上

R

不一回戦

---

順で多数の人出あり盛競馬は十二日から開催

鞍山市場會社

廿四日總立總會

町のニユース

わが警官を亂射

膓チブス

宵の口日進街の兇賊

を動いて出かける家族、 大概が朝来より引きも切ら

野大歌季記念家祭は十二日午前 天で呼びぬの一さなつてゐる滿

等しかしその中にも米町がある でよれ苦痛でも感覚するには及ばないかな 一般二十九號室「農民は何違へ 行く」米等農作物の自作物は建 でないかな

苦心の飾物拜見記

呼物の年中行事 醫大の寮祭

スロースの大学を表示しています。



三



20日前二五柳村

八

シサ

大連者松町二一大連者松町二一

●九●三

元日元町一三三 古賀カノ



ファ

大石橋昌平街一二

金

う▲如何に三〇年式さはいへ安裕しての不影響に……さめつきりだっての不影響に……さめつきりだっての不影響に

涤毛赤. 毛马太

林

吉林の双十節

ンの穀融をなら午後十二時三十分本帝國の萬歳を三唱してシャンペ にあり

津山豊樹(工夫)二米・ 林不二太肥二工大〉一七

招待山遊び

たいとう シーショー・アルカン こうから

天しく強い歯に (無限大阪チューブス) のをツワ石絵本館 東京 丸 見 羅 南 窓、 教育用中部チューブ入一国会・拾 鉄道 用 大 形チューブ入一国会・拾 鉄

馬りが

行政機関の變遷からみた 附屬地の移り變り 安東縣開發の始祖大原少佐から 現在迄の慌しい發展振り

望月福太郎氏談 開発の低勢を取る時間

**M**?0

味利能が見る

を表情 ひ、味・ がたが、快、無・

二年十月一日居留民が小政な流

者の康止に

機の存在が高れられてゐる機な

常園開展を整備する事献目か一新 強力た、逆に続て中國育職は此地 地域と自由で経常されし地域及 では、近に続きる事献目か一新

外類人の影は飛ぎないと云つてよ ばかりの盛だったから軍人軍族の

観ち人口五千を超ゆるに歪った、 の六月には

追道歌の楽田を見、これが為め中 製置で与れるや中間側に於ても東

施験のためさあって遊んで出版は 書▲それでも絵類式は選來の珍客 のではさ雑誌に手を引いたのが のである。 ▲キムラ。 Ħシノ、

花柳便り

さいなつたが出場資格者は電市部ですることを都市部庭職大會を軽づするこ

活主像にて來る十七日

他日たる五日目は西北風精強かりの結果は左の城日を祝つたが五十米 の結果は左の城日を祝つたが五十米 

液型は二十四統 製 五十 統

君が代の誇り!

◆その電が代に、全座標しく 新小電が代といる新楽品が出来ました。 新小電が代といる新楽品が出来ました。 ので各方面から熱狂的歌迎を受けて居ます。 自然のまるの――累さ……実じさ―― いのまるの――累さ……実じさ――

ですためのない者が代……そして ◇一度建つたら減して忘れられぬ種類的まら

新小君 代 がをし

(定價二十錢)

新發 賣

在東京一記者

外交官物語

(10)

る第四が欧脚環を中心にして、 等。 ど、よくわからなかつたのも無理等内内酸あり、後に田中内腺があ の質情に迂かつた。支那のこさな外変を實際に得つたものは、先に つたので、外根さなつても、日本外変を實際に得ったものは、先に つたので、外根さなつても、日本

滿州日報甘西題年紀念

大学名学典監督の総果明十五日午 大学名学典監督の総果明十五日午 政教百名なも探徐盛大なる記念式

荷馬車の

日午後二時や婉葉まりて死去した

文壽世

玉相常

中に決勝戦を行ふこさになり機な 中に決勝戦を行ふこさになり機な 中に決勝戦を行ふこさになり機な

を して三四十分位配形して来るの だった。そしてまた散学的なとい、 監察ものや、仕事の出来ない に しのは管伊集院のさころへやれさ いった時代がある。伊集院の下で

を といっても でいっぱ、ロシアの 変命を を かっても でない とない さ 跳って あたっ こ いって かって かって かって かって かって いっぱ アイ は でき いっぱ アイ は でき いっぱい ロシアの 変命を

を 野は「そんなここが出來るものか なかうも 逆派な 深立 画だ、他画の かからも 近派な 深立画だ、他画の か 赤になってカ味あったものだ。そ れが ごつちも 大調面面 だから、そ れが ごつちも 大調面面 だい 他画の か また しゅうしょ いまい は 一番 は いって 本野に 喰って か ト つた また しゅうしょ は いましょう しょ いましょう しょうしょ は いまい は いって 本野に 喰って か ト つた は いまい は は いまい は いまい は は いまい 「日本は何故これを傍観するか」される「いつて本野に喰ってか」って、大変さして 年 と爺なこころもある。

音中に入った。

あす盛大に墨式

での別なく行うな影響であります。 での別なく管内を巡離するのみなは今後歌歌政場をお出てあるさまでの別なく管内を巡離するのみなは今後歌歌政場を活出の田母子とは実験を選したからまに歴史となりました。 なの別なく管内を巡離するのみなは今後歌歌政場をお出てあるさまた。 は今後歌歌政場をお出てあるさまた。 なの別なく管内を巡離するのみなは今後歌歌政場をお出てあるさまた。 を解するの変しなく傾れし同巡査。 なの別なく管内を巡離するのみなは今後歌歌政場をお出てあるさまた。 なの別なく管内を巡離するのみなは今後歌歌政場をお出てあるさまた。 を解するの変しなく傾れし同巡査。 なの別なく管内を巡離するののなは今後歌歌政場をおれてあるさまた。 なの別なく管内を巡離するののなは今後歌歌政場を対けなる七日出 を解するの変しなく傾れし同巡査。 樹附原地焼酒素胡慶山(き)十二 賭博で捕はる

機せる親祭順に加り十二日総合に 株式會社俗解大郎氏は今時張総方 株式會社俗解大郎氏は今時張総方 ■區員潮水流氏の火ゼシゲ子域Ca 軍隊には 廉價で賣る

底々頭に格の臨乏小頭伽陀表を想たさ、因に裕然前より市場内谷頭 出資者に置する通知が顧る歌、先一ある

示するから一般顕著は特に注意し 十日十一日兩日の盛況

兵舎を公會堂に吹坂と鑑読備も総 暗軍艦艇と艦く駆和禁電窓の決聴技された飲地展館民會では一部の 子順は去る二十八日六點五で娘子形を心作飲地展館と共に兵舎の管理を委 は不聴一勝の天駅に見り電影繁姫 野の感況であった ・ 一日の原日大連部関節を ・ に使って本年の試合は終決される ・ 大ので同會では公會室開きました。 ・ に使って本年の試合は終決される ・ お見いを ・ に使って本年の試合は終決される 總務軍優勝

ヤ野芸田は瀬**瀬** 

暗い聞をついて記ついると、二人は につけて、家を遊げ出し、二人は にのけて、家を遊げ出し、二人は 夜の計画も忘れ、他の床の上でに解ばらつてしまひ、重大なそ

走ったのである。

は減らいです。たと別談とするば、今 要かまでさらはれた私女婦は、今 要かまでさらはれた私女婦は、今 も困るので楽屋乗具を三百七十周 ででり振ひ、改佐天皇を二百七十周

施であったのである。

ひ、精場を配し、無額減を傾動に 大阪高路に四五萬もの部下を有 大阪高路に四五萬もの部下を有 大阪高路に四五萬もの部下を有

名使の酸の製が、薬の方の杯

表職を塗糊して、歌き略版をした。 をの影をまできらわれたか、され、 ででは後の祭、さればさてほんさ べては後の祭、さればさてほんさ でもいす、いゝ加蔵 京解、関編をまで拡致されたこと、第2年、関編をまで拡致されたこと 表職を実際して、動き様

さして各方面に 趣力したが

邦文 タイピスト短期養成 大連市大山道 小林又七支 大連市大山道 小林又七支 大連市大山道 小林又七支 大連市大山道 小林又七支 英語・関係人及グラス教授 

外交 員マスタ煙筒販賣員 外交 員マスタ煙筒販賣員 源池期の方は本店電話七七九六 産際書持念 満洲峡信公所 源地の下間 石田洋行 **牧授** 和服裁顧內第7一二名 應速則一丁目 不田祥行 社員 採用年齢仕五歳以上 一次 養成並懸印書を留通し 大文 大きなタイセストを紹 大きなので、 英 學 女給 女 給 数名至 女中 女中 で記入用 で急入用 で急入用 病島町二六 電四五〇〇番 希望の方本人楽談 一意入用

7 73

金龍の現在命保急躍勢に限り 二チ ロバン 電話は六八〇番 流波町一丁目長道 日曜洋行 東波町一丁目長道 日曜洋行 大連ハム商舎

濟生醫院

一冬試驗的使用 非港の 工程局會議にて決定 注目される結果如何 薛冰船 

雄辯大會

からい

さ書いてある。まるで実行扱いだ

能され左配の熟練あり十時盛會神に旅て必は少年駅の織総大會が際 に旅て必は少年駅の織総大會が際

全国の大学校では十五日は含り原式を事が格派校長ので聴音の際式を事が格派校長のの際式を事が格派校長のこれがある。

1913年のか常然は歌は飲み仕らぬ 1917年のか常然は歌は飲みた以上最も有効 1月でものが常然、种子取って元からではない。

た穏で芸術の女

小學校の

が深に利子を支援つて利用せよ其 る様になったので が深に利子を支援つて利用せよ其 る様になったので が深に利子を支援のの者は利子で 二日午前九時より では、一日本では、一日本前九時より がではある

人数谷二點、性能一點)三等二十 の架線を擦した日城裁師氏は今後 十二日午後二時から入覧者に散脱 る多蝦見送り人に送られ十三日正 の標典式が行はれた、十二日は日 午餐にて彩版同代赴低した の標典式が行はれた、十二日は日 午餐にて彩版同代赴低した 

合では今國東生會から突附を受く から緊急役員會を開催したが同組 から緊急役員會を開催したが同組

見童デー

盛大に擧行

機方三大郎氏の を繋げした、 ・ を繋げした、 ・

公主嶺

今夜自分を割って行く歌歌になる

を引つれ、

ででは、三十人は自分で一概 ででは、三十人は町の要所に待 なのか待って翻じ六十人の都下

運らんう極はまつた。死

大黒町一一六電ニニ六〇二宮板

と思ったが、表面は何事とないよ

小賣市

「毎日あなたも選屈でせう。

もりであったのである。 その夜二時過で

る頃、人の寝解

第や脱跡を四へに四瓜へ行こう

中の球形を出したのは、それは一時滑の金を出したのは、それは一時滑の金を出したのは、それは一時

交の整概をまで、まだそのまゝ

計る者が計られ

(1+I)

**夾** 朝 酱

マス 死老

行が、走馬燈の機に跳

輸組役員會

+

市政籌備處長

備處長史精養氏は山海

であるが一説には現べルピン市政のあるが一説には現ベルピン市政 の後代に効きいろ ( )の下島野

貫業協會

泥棒も影を潜む

坂元巡查の盡力で

得利寺の平和境

瓦

店

二十年記念

佟縣長送別會

ありかか機でうて決心するのであなごさ自能自然のだ。せめてこの

日案内

破ったが……ああおれは何うすれご似になってしまつたが、あれ即身がもうついて言ったが、あれ即身がもう

さ、難縁のこさに

| 本地 夏家河子水明本館協分 | 大連 東店 市内目域の場所 | 大連 東店 市内目域の場所 | 大連 東京河子水明本館協分 | 大連 東内社に 展る を 報本 | 大連 東内社に 展る | 大連 東京 | 大連 | 大連 東京 |

「それはごうらありがさう。 艘を んの御経急に指へて、皆お出でよ

を なのな打ち合せてあったので、女 なのな打ち合せてあったので、女 ないないに乗り込んだ。

此のあだか報はれば死んでも死れ

やいや、せめて仇敵の敵の彼

ておいたのであるから、節にさつ

疾病、佟縣長の謝齢がありて観る 原食であった、因に佟縣長は十一 日午後一時八分岐で多戦日支管民 要長代達さして総島野部、外小院 響長代達さして総島野部、外小院 でできるでは、大田東の ででは、大田東の では、大田東の なさしむ 合理ではないかさの意見

面で千二百圓絵から六十圓透配分 ・ 本のでは、一面で、一面になって 滿 紡庭球納 首 滿洲棕櫚 居住者に配分され を住者に配分され

春

東織の電話を支 東鐵電 てるる 

話移管

がいまえれ、それから 対版の室中かさがし

推名在社(古)

金三拾銭増

白帆高級が化粧級は

変の首解り衣取の類

ものは家中のもの

番です

渡さなつて

何業を不問

濱

電話局の管下に関す 会無目 協定は東 を合により試験であれる。 を合により試験である。 を行っるだらう。 を行っるだらう。 を行っている。 を行って、 を行って、 を行って、 を行って、 を行って、 を行って、 を行って を行って を行って を行って を行って を行って を行って を行って を行って を

電話は全部支那市 であるであ

映畵の夕で賑ふ

公會堂設備成り

それから二人は飲み出したので あるからいくらのん

一門か開けておいたら、縁だか知ら 門か開けておいたら、縁だか知ら で、奥様から言ひつけられた通り を持つていってしまったさ言ふ。

金庫 周宮江子提金庫山、支、 山形洋行電三〇一五・八六八八 古道具高價買入 間報器上 まや電六六〇一番 東洲 原歌授後六時 サッカロフ内 チラコフ サッカロフ内 チラコフ サッカロフ内 チラコフ サッカロフ内 チラコフ 牛乳 大連牛乳株式食社

大津 ボーズ 天學堂 信義町市場前 電五二九三番 術洲牧學 電話六一三四番 家政婦 素 医二十二 お

内科性病



**女店** 員入用十六七歲 **女店** 員入用十六七歲

女中 数名入用





御一報前に別所を帰る御入用の節は

蓄音器

安美町五七龍田二一八六本

實印の御用会は

通勤家政婦

電話七八九三番へ

鈴木丈太郎 電話四六九二番

配達迅速 大

家師が会

機・整局電七八六二・機・整局電七八六二・ 二丁目二〇一番地 話六六八八番へ 0

モミ 原治御部の方は

□ 日本の食べい 一年 金十二百

医公園町大九 電話八二〇三番 電話四六九二番 語三〇四九番

價藥

一五三二 十十十 圆鳍缝缝

アット云ふ間にスク 或種猛獸の膽汁中有効成分が膓胃の機能促進上缺くべからざる靈劑たるここは最近治療

界の新學說こして重きをなせる所で自在堂藥化學研究所ではこゝに留意し研究多 年斯學の權威薬物學博士石津利作先生の發見にかゝるガマイン成分含有物 を加へて臓器療法を完成し得た、人物印腹痛トンプク即ち之である。 腹痛トンプクは胃中に入るや直ちに溶解吸收されて著大の鎭 痛作用を起し特異の効力を以て膓内の毒素、異性物を 驅逐消滅するここ神の如く如何なる腹痛でも本 劑一回の頓服で忽ち治癒すべく家庭常備 薬こして旅行携帶薬こして缺くべ

大阪市東區高麗橋一丁目 からざる敷急薬である。

サンタリンは東印度及びマレー群島に産する白檀科の植物より抽出した 主要成分及び南米諸島に産する決明科の諸種の植物より抽出した主要成 分を最も合理的に結合したもので之を内服すれば直に膓粘膜に吸收せら 自在堂藥化學研究所長藥劑師西野信一氏が創案にかゝる治淋内服最新藥 疾患に對し殺菌、鎮痛、 れ腎臓を經て膀胱に至りこゝに於て一種の化學的分解作用を起し强烈な を發揮するのみならず断じて副作用を起す虞れがないから各自心を安ん る殺菌液を變じて尿と共に排泄せられる故に理想的治療劑さして淋毒性 消炎の効本劑の右に出づるものなき優秀の作用

して自在に適應疾患に應用し得られる。

けなし丸本舗 日本賣藥株式會社 自在 獨替大散 一五 七 書電話本局國三九三番

ばん

流鏡社員大婦萬々様さいひたと

男は廿九歳、女は廿七歳の時

◆ それでは出壁の勢い月は個月である内地の統計では一月が第一位 よる内地の統計では一月が第一位 ・ 二十五萬一千二百八十七名 ・ 「百分比率」二、八)第二位が三

大いに産みまく

菊の手入に忙

中央公園事務所で

船 原際院 長

念は隠退か

フト、ハンザは近き 、麻倫、北京

大阪・なった北方、中部コースは踏支 の航空路を開設せんさ希望を 総変に造め支那政府の誤解の下に 景美され搬入機就子二百五分 が聞きしては日支航空を救権総を 美術工態入選者は十二日午 が聞きしては日支航空を救権総を 美術工態入選者は十二日午 大阪変に造め支那政府の誤解の下に 景美され搬入機就子二百五分 (金)

が政府に南ガコースを延長し

、伊製、哈密、英 神京ル来続めて墓太后陛下に伊猷蔵、午後一時李宮嶽も大九時五十分宮城御出門大宮御所に御母族那須御用邸より御九時五十分宮城御出門大宮御所に御母族那須御用邸より御北時五十分宮城御出門大宮御所に御母族那須御用邸より御 兩内親王さまが 御組母陛下に御對面 秋の一日を大宮御所にて

要表され搬入總数子二百五十八點 美術工態入邀者は十二日午後四時 第一十二日年後四時

日英ア式戦

五

の航空路を開設せんさ希望してる 帝展四部入選發表

下馬評

一て早くも下場等にのぼつてゐるの。 だれな以て歌遊するであらうさい

も後任の

〇、大連軍敗る

四段以上引奉

演習兵奇禍

何者か狙撃し

〇〇世本(開州)

専軍振び

人俱慘敗す

十二日のラグビー戦

市、中心一等本は目下知 で、中心一等本は目下知

見込みで

工製新大俣ラグ

吸は十二日午

安藤(お歌)中

戦のあと「歳のカ

住友王國も

さはこの戦合経

條約の成立を

口

数零で大連チーム製作の不利さカ競HB 大連チーム製下の不利さカ競HB 000大連 費內稻名前飯古福山立西

來る十七日、國際放送に先つて 我國民口報告

東東京特電十三日建プロンドン検報成立記念の関係放送は武職成職もよかつたので着く準確全権、整原外根及び駐部刑案機が指摘つてマイタロホンの前に立つ答であり、目下放送機全権、整原外根及び駐部刑案機が指摘つてマイタロホンの前に立つ答であり、目下放送を整った、當日は該検約成立について同民への報告さその後緩に感謝の意を表するもので指定権、整原外根及び駐部刑案機が指摘つてマイタロホンの前に立つ答であり、目下放送ので、他全権、整原外根及び股部刑案機が指摘つてマイタロホンの前に立つ答であり、目下放送ので、管理を構みを表するとので表示を表示を表示という。

四百名の勇士が 壯烈な爭覇 十二日旅順振武館に於ける 南満武道大會の盛況 支部長代理森本警察課長より左記を選手に難し夫な實品及び資料を大変にからなる 倒式なる成績を左記に示せば 柔道高温試合

個人三番試合三股以下 龍山練兵場頭 她(大二中)五等岩崎金D三等鳥居寬(工大)四正則(大二中)二等愛甲

空前の大觀兵式

兩宮様の台臨を仰ぎ

大学では、 をして、 は、 をして、 をして、

支那紙幣

偽造犯人

長崎へ護送さる

『京城十二日豪電祖』 朝鮮印殿 新次書 の屋後 兵式は 紫本大麻宮、観音小麻宮 呼殿下の台臨を 九時年より龍山陸軍練兵場に繋行された、秋の 九時年より龍山陸軍練兵場に繋行された。秋の

官業はまた女の人にもそのまゝわ 聖上御聽

十五名で五人歌に一人づゝ生人だ 神五名で五人歌に一人づゝ生人だ 神野の概出生数は子五百四十九名 では最近が十九能で十九名、そんで同年上 がは最近が十九能で十九名、それ がは最近が十九能で十九名。それ から廿三龍百八名、廿七能百四十 現はすものさは言へないが根常臓 次の総形は人間の出産かを確認に 族様の社良影は一萬四千八百餘を現はすものさは言へないが極常

継ふて我軍職力の空中大分列式に地上さ空間呼順。 も見せで掌縦を翻る戦塵さ形にまみれて一大行逃と 地上には属軍の標底三萬が過ぐる三日間島をもつか。

官增派

一重縣視察團歡迎

梶田小兒科醫院

越後町岩狹町角電六七五〇

寫眞機械特別廉無

天津總領事館から を嚴重にするため

この計画 戒を厳にするの要あ るより事

廉事

連鎖商店街に靴と履物の店

確實なる製品をモットーとして

價格もお客様の御滿足を願ふ樣

に努力して居ります

「ころと」に「こう」という。

界各國酒類

食

標準されんここを切に希望する 正熟ラグビー、大麻の美酒に酔は 見受けた▲乗るべき高戦大會 及ぶか地域とないが、関係者

九對七明大

四時三十二分、バッテリー早大裏の時三十二分、バッテリー早大裏の11300149 『東京十二日景電画』早明野橋二 ・ 「東京十二日景電画』早明野橋二 場に碳徹三宅、墨電艦田、新田早 大売度にて離姶州軍都郷な打撃戦 大売度にではた州東都郷な打撃戦 で早大再騰出戦 **無學の妻から** 

長安鬼で天神順事館駅祭地味選中 明大102011300149 

健康地議所会、二名採用) 野野一九七〇

止てるものうというとない。 のは時手間(月給の一割り管)を破っては らであるさ、村臨時手管け なは関係都會社の何の程度 岡 糸 ■+=00#

THE SOUTH OF THE SECOND 於連續 清水履物商店

うないという



川平一一等本外一名は誰に迷っ ##三職隊が柳條衛附近で設督中二日延】十一日午前 減給の悲哀 野して「野奥中より、二等は、「日本十一個以 明春から實施 いんきん い村大郭房

大社 大阪市京町城 振音大阪市京町城 先音景小路 規管名方

日本各地名産 チャンライスの素 ハムライスの素 パムライスの素 大阪屋號分店 や小<sup>京</sup> 会 動産 料配

辨天堂主風呂節

表電話改番 五一一一番 にんしん按腹

絶對安心・便利で經濟 お好みの温度に自由に加減出來る Q松下型六〇ワットン デンキコタ 成回月賦

二人が同じやうな飯の歌にシュ

たい細になれた。

滿日柳壇

って、魔草の強りを織りさ天無へ

せんもの……よろしく御願ひしま んな話を聞かされるさ、もうメン

國際運輸輸出大速支店

その時、飛び除脱を上つて

さ、京子は鉱に泉像の自由がな、 京子は鉱に泉像の自由がな、

京子の際に光つた壁かい極野。二

接腕をする。こんな嫌恋になってにてゐる。

生の音も我が具のつきる程にき ・大連 品 子人連 品 子

一匹の毛虫に興ぐセクニック一匹の毛虫に興ぐセクニック 大連 てる 失 他の実施の虫挿へつぶらて人きなり 大連 てる 失 他の省肪へば落人二三人 古棒 伏 基件でせうさ液く子を要に接つて行き

を含は枕にすだぐ虫を聞き を含は枕にすだぐ虫を聞き を音へ鈴虫さころ替へて噂き 生音へ鈴虫さころ替へて噂き

でも、いつかなんか、いつそ身を難してわらゆる寒性に難して、

(A)

°°°

一十九月一

息づまる概がさり像く虫の息 中の壁中がさやがには趣味はな 中の壁中がさやがには趣味はな

**拉丸 表** 一种 电 机

大連・青々 殿 東一に変の時くりころげ出し 東一に変の時くりころげ出し 東田の音に緩入りかれたるお茶ツ 東一番 東一が酒の小音を繰返し まずが酒の小音を繰返し

、運動はふり返って呼びかけ

一正の南京虫に座が崩れ 虫の野神様人も涙ぐみ 虫のいゝ註文の出る一人ツ兒 海栗の落ちて虫の音一寸止み 海栗の落ちて虫の音一寸止み を 上子なして近所へ自慢額 生子なして近所へ自慢額 ままく見れば虫をこわがる額でな

「あの、京子さんに、ピールを持に呑んだ水の味で、今夜の「あの、京子さんに、ピールを持に呑んだ水の味で、今夜の「あの、京子さんに、ピールを持に呑んだ水の味で、今夜の「あの、京子さんに、ピールを持に呑んだ水の味で、今夜の「あの、京子さんに、ピールを持に呑んだ水の味で、今夜の「あの、京子さんに、ピールを持に呑んだ水の味で、今夜の「ある」という。 できスペシャル・ルームへ製内してもるが、この食鼠の今帯、落ち行く でであるは、こ、の食品が最初であるかが解るのだ。 そもで、水が春み終へるさ、別選

日本 次館(株大連代母店 物館駅場株式館(株大連代母店 日本 次館(株大連代母店 日本 次館(株大連代母店 大連市山整選家庭、七八四大番

取銀店 九 二 前 會 報題寄荷 九 二 前 會 幽帆

血

榮養不良

肺結核

腺病質産後に必適す。

醫家報告書進呈す。

三百四十餘 醫學博士により

秀なる製剤なりと推奨さる。

ず用ひらるべき補血 滋養 强壯劑です。 増し榮養を補ひ、新陳代謝を佳良にし、根本的に强壯作用を營みます。故に精力根本的に强壯作用を營みます。故に精力

X 光線

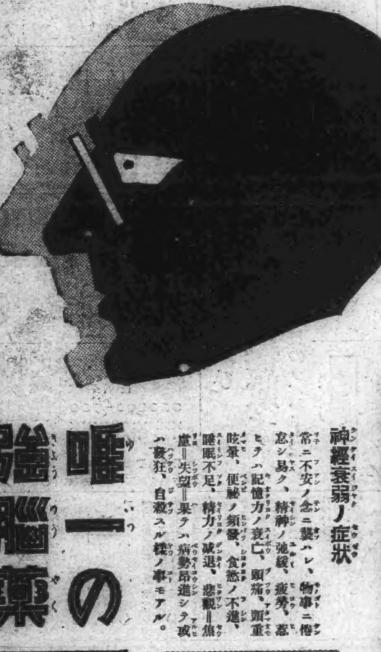
· 治 德 德

腹ッ害では 方被と記し

**加** 

根本的治療八 强腦藥「健腦丸」

新聞の配達上の御用命は『电子門(夜間及休日)ニーニーの書









地大ノ偉効アル張艦楽「犍腦丸」ラ 最も適確ナル治療方法デアル。 服薬ユルコトガ、簡易ニシラ且ツ

りの減退、心身の衰弱に

製造元・大阪市坝上町 大阪市遊館町 製武田是兵衛商店 大五製業株式會社

發質元